

きょうたんて

vol.110



主な内容

木村次郎右衛門さん116歳に

市政トピックス

観光列車「あかまつ」「あおまつ」発進

フォトグラフ

思いをひとつの形に

ほか

2013
平成25年

5月号

4月25日発行

表紙写真：丹後小町踊り子隊（京丹後ちりめん祭）

目次

index

木村次郎右衛門さん 116 歳に P2

Xバンド・レーダー
中山市長ら車力分屯基地を視察 P3

特集 P4
市内7小中学校で閉校式

市政トピックス P8
観光列車「あかまつ」「あおまつ」発進 ほか

京丹後市職員人事異動 P12

フォトグラフ P16
思いをひとつの形に

市政ガイド P18
循環型社会の実現へ向けて

まちのわだい P20
久美浜NPOが丸子舟を復元/和装姿の来場者でちりめん祭にぎわう ほか

京都府のひろば P22

健康だより P23

みんなの広場 P24

京たんごスポーツ P26

生命の絆 P27

情報ファイル P28
市の文化財/ジオトピックス/視界遡考/宮川優のたんご優遊見聞録/図書館だより ほか

京丹後人 ③⑦ P32
我流フラダンスチーム ARASA

“きもの”のある風景



4月14日に華々しくデビューした「丹後小町踊り子隊」(9人)の皆さん。<写真は、中山市長(中央)らとともに記念撮影の様子>

踊り子隊は、昨年11月に結成。仕事の後に集まるなどして練習を重ねてきました。当日の舞台では、「華の乱」「京丹後音頭」の2曲を披露。息の合った踊りで華麗な舞を見せ、会場を沸かせていました。

(20頁に関連記事)

長寿世界一、男性史上最長寿

木村次郎右衛門さん116歳に



中山市長が156通のお祝いメッセージを木村さんに手渡した

安倍総理からのメッセージ映像を見る木村さん

長寿世界一および男性史上最長寿の木村次郎右衛門さんの満116歳の誕生日をお祝いするため、中山市長と土家篤(つちかあつ)丹後広域振興局長が4月19日、木村さんの自宅(丹後町中野)を表敬訪問しました。

中山市長はこの日、「116歳のお誕生日日本におめでとうございます」とお祝いの言葉を述べ、不老不死の徐福伝説をモチーフに描いたちりめん製のタペストリーや国内外から寄せられた156通のお祝いメッセージを手渡しました。さらに安倍総理からもお祝いのビデオメッセージが届けられ、映像を上映しました。

木村さんは、「はい、はい」と何度も返事をされ、総理の言葉に対しても、うなずいたり、「ありがとう」と答え、こやかに表情を緩めたりしていました。

また、土家局長(山田府知事代理)からお祝いの言葉ならびに木村さんがやしゃごの小田彰(あきあき)ちゃんを抱っこしている様子をモチーフとした西陣織の記念品が贈られました。訪問には、報道関係者が多数駆け付け、木村さんの姿が全国に紹介されました。翌日、木村さんにとって14人目のやしゃごに当たる木村瑞生ちゃん(0)が里帰りし、長寿をお祝いました。

青森県 つがる市 車力分屯基地

中山市長ら「Xバンド・レーダー」視察 安全性や現況などを確認

防衛省から2月26日、経ヶ岬分屯基地をXバンド・レーダーの追加配備の候補地とする旨の申し入れがあり、同省が3月11、12日に住民説明会、13日に市議会全員協議会で説明を行いました。これを受けて市は、地元区住民代表20人と同レーダーが国内で最初に配備された青森県つがる市を視察しました。

人が3月25、26日に同レーダーの国内最初の配備先である青森県つがる市を訪問・視察しました。

3月25日午前、つがる市役所で福島つがる市長と中山市長が会談を行い、福島市長からレーダー配備受け入れの経緯や健康や環境など安心安全の確保、そのほか各種のリスクなどについて説明を受けました。

また、同日午後からは視察者全員でレーダーが配備されている米軍車力通信所および航空自衛隊車力分屯基地を視察し、米軍および自衛隊からレーダーや施設の概要の説明を受けました。26日には、レーダー配備先の車力地区豊富町、富滝町の住民とつがる市職員と2時間にわたる「住民懇談会」※を行いました。



Xバンド・レーダー配備に関して、意見交換が行われた住民懇談会(3月26日、豊富地区コミュニティセンターで)

4月9日、配備計画に関して、健康への影響や農業、漁業など生業への影響、騒音対応、米軍人・軍属の居住、レーダー対撃安全性などについて、近畿中部防衛局へ質問書(内容は、市ホームページに公開)を提出しました。

※主な懇談内容は次のとおり
市長会談より抜粋

治安上の問題は

中山…米軍による事件・事故などの治安上の問題はありますか。

福島…レーダー配備当初は雪道でのスリップなどによる交通事故が頻発しましたが、警察署指導の下、基地内で米軍に対する雪道運転の講習を行い、ここ2年間は発生していません。事件としては

傷害、住居侵入が一件ずつありました。また、ご家族やお子さんはいますか。

米軍の方の住まいは

中山…配備されている米軍の方はどういう所に住んでいますか。

住民懇談会より抜粋

※「京」は京丹後市民、「京市」は京丹後市、「つ」はつがる市民、「つ市」はつがる市

電磁波による影響は

京…Xバンド・レーダーの電磁波による漁業、農業への影響はありますか。

つ…レーダーの前で漁業を行っていますが、漁船の無線や魚群探知機、GPSなどへの影響、漁獲高にも影響ありません。

を栽培していますが、風評被害はありません。京…健康面での影響はありませんか。

受け入れの決めては

京…最終的に受け入れを承諾した理由は。当初、配備の申し入れがあった時に反対した方はいましたか。

つ…申し入れ当初は、反対の声が多かったですが、何度も防衛省や市から説明を聞き、配備に関する不安は払拭されました。

攻撃されるといふ不安は

京市…Xバンド・レーダーが配備されることで、攻撃のリスクが高まる不安はありませんか。

つ…防衛省からは、万が一攻撃のリスクが高まる時は、レーダーでミサイルを探知し、飛来する前に撃ち落とすという説明を受けました。

図総務課 ☎69・0140



学校行事の記録をつづったアルバムや教科書、手紙などが展示された（湊小で）



「別れのことば」と題し発表する生徒会長の清水君（高龍中で）

生徒会長の清水一平君（当時高龍中3年）は、「別れのことば」と題し「高龍中最後の年として、思い出に残る、また良い形で引き継げる締めくくりの一年とするため、合唱祭や体育祭、クラブ活動な

どをみんなで一所懸命に取り組んだことを発表しました。1、2年生には、「新たな環境で不安も多くあると思いますが、どんどん自分を出してください」と述べ、両校の伝統を受け継いでいくこと、お互い協力して、新たな伝統をつくらせていくこと、地域との交流を行うことを守るようエールを送りました。最後に「高龍中のスローガン、命・今・仲間」の誓いは、絶対に忘れないでください」と力強く語りかけました。



した。
4月から新たな校舎に通う大宮第三小、田村小、湊小では、地域役員や関係者、卒業生などによる地域主催の行事が開催されました。
大宮第三小では、学校の歴史をスライドショーで振り返るとともに、「神楽」や「太刀振り」などの伝統芸能が披露されました。田村小では、スライドショーや合唱など、湊小では、トウテイランの植

栽、タイムカプセルの埋設などが行われ、閉校を惜しみつつ新たなスタートに向け、ひとつの区切りとなりました。
また児童らは、地域の方との思い出がたくさんできたことや大勢の皆さんに支えられてきたことに対して、何度も「ありがとう」と感謝の言葉を述べていました。
このほか、湊小校内の展示室には、学校の歴史を物語る当時の教科書や手紙、アルバ



校旗返納の前に、式典出席者の前で披露された（神野小で）

ムに添付された白黒写真、児童の作品などが展示され、来場者は懐かしい品々を手取りに見入っていました。



三重地区に伝わる郷土芸能「神楽」を披露（大宮第三小で）



最後に校歌を斉唱し、学校に別れを告げる児童たち（神野小で）

7校が再配置、新年度から新しい小中学校に



長い歴史に幕を下ろした校舎（田村小）

3月22日、24日の3日間、市内の7小中学校で閉校式が行われました。
大宮第二小学校（大宮町）、神野小学校（久美浜町）、久美浜中学校（同）、は、3月22日、翌日、高龍中学校（久美浜町）、24日は、大宮第三小学校（大宮町）、田村小学校（久美浜町）、湊小学校（久美浜町）の体育館においてそれぞれ閉校式が挙行されました。

式典には、市長や副市長、教育関係者、地元区長らが出席。校長や来賓からは、同校

の伝統や歴史を振り返り、関係者に感謝の意を伝え、新たな出発を控える児童らにエールが送られました。
続いて、児童生徒の代表者は、運動会や遠足など学校行事を振り返り、楽しかったことや辛かったことなど思い出を発表しました。
次に学校のシンボルでもある校旗を児童生徒から校長を経て、小松教育委員長へ、最後に中山市長に返納されました。
最後に出席者全員で校歌を斉唱し、式典を締めくくりました。

「ありがとう」校舎に感謝と別れ

市内の小中学校の閉校式が3月下旬に開かれ、大宮町の大宮第二小、大宮第三小、久美浜町の神野小、田村小、湊小の5小学校と久美浜町の久美浜中、高龍中の2中学校がそれぞれの歴史に幕を下ろしました。各校は、市の「学校再配置基本計画」に基づき再配置され、4月1日、新しい小中学校として出発しました。

特集 市内7小中学校で閉校式

それぞれの長い歴史に幕

特集 市内7小中学校で閉校式



久美浜中学校の歩み(概要) ※年度

昭和22年 「久美浜村組合立久美浜中学校」(神野村・田村組合立松江中学校「湊村立湊中学校」)発足

24年 久美中・松江中・湊中を廃して、新しく「久美浜町・久美谷村・神野村・田村・湊村の5ヶ町村組合立久美浜中学校」発足。新校舎落成する。湊中は「組合立久美浜中学校湊分校」として発足し、12月3日新校舎竣工

30年 町村合併に伴い、「久美浜町立久美浜中学校」「久美浜町立久美浜中学校湊分校」に

35年 特別教室竣工

36年 職員室増築工事完了

58年 「湊分校」閉校式。新校舎竣工。新生「久美浜中学校」として出発

60年 給食棟竣工。2階は格技室。グラウンド夜間照明施設完成

平成4年 久美浜中学校同窓会発足

16年 合併に伴い、「京丹後市立久美浜中学校」に

24年 京丹後市立久美浜中学校「閉校」

高龍中学校の歩み(概要) ※年度

昭和22年 「組合立熊野第一中学校」「組合立佐濃中学校」発足

24年 「組合立高龍中学校」に

25年 統合校舎竣工

26年 生徒会発足

27年 「高龍中学校校歌」を制定

30年 町村合併に伴い久美浜町立・佐濃村組合立高龍中学校に

31年 同窓会より校旗を寄贈

33年 佐濃村編入に伴い「久美浜町立高龍中学校」に

36年 北校舎竣工

37年 中学校舎他竣工

40年 新体育館が竣工

41年 新寄宿舎竣工

46年 プールが竣工

52年 グラウンド拡張工事完成

53年 高龍中学校同窓会再興総会を挙行

54年 本館棟竣工。創立30周年記念式典を挙行

60年 同窓会より校旗を寄贈

平成元年 校舎建築第一期工事が竣工。ランチルームでの学校給食を開始。

2年 同窓会より応援横断幕を寄贈

4年 グラウンド東側フェンス、防球ネットを改修。コンピューター室新設

16年 合併に伴い、「京丹後市立高龍中学校」に

24年 京丹後市立高龍中学校「閉校」

4月1日

新「大宮南小」「かぶと山小」「久美浜中」が開校

関係者ら歴史のスタート祝う

「学校再配置基本計画」に基づき、今年3月末をもって閉校した市内7小中学校が新しく「大宮南小学校」(大宮町)と「かぶと山小学校」(久美浜町)、「久美浜中学校」(久美浜町)となり、4月1日に開校しました。

4月8(大宮南小、かぶと山小)、9日(久美浜中)に行われた開校式では、新調された校旗が中山市長から小松教育委員長を経て校長に手渡されました。

最後に、京丹後にゆかりのある元教諭らが作詞・作曲した新しい校歌を児童たちが元気に合唱しました。児童や関係者らが各校の新しい歴史のスタートを祝いました。

8日、大宮南小で行われた開校式では、矢野和子校長が「児童のみなさん、友達をたくさんつって、楽しい学校生活を送り、南小の歴史を一緒につけていきましょう」とあいさつ。

また、児童の代表あいさつでは、3月に閉校したかぶと山小の児童代表が「一日も早くみんなと仲良くなり、新しいかぶと山小の学校生活を楽しみたい」と決意を述べました。



▲開校に当たり決意を述べる児童(かぶと山小)
▲小松教育委員長から新校旗を受け取る矢野大宮南小校長



久美浜中で行われた開校式の様子

大宮第二小学校の歩み(概要) ※年度

明治6年 常吉校三重校創立(萬歳寺)

7年 倉垣校創立・三重校移転

9年 常吉校を「若葉校」に

11年 三重校舎新築

12年 倉垣校廃止、「大野校」に

16年 大野校より独立

19年 「倉垣尋常小学校」に

29年 常吉尋常小学校新築移転

43年 「三重尋常高等小学校」に

大正8年 倉垣尋常小学校全焼

10年 倉垣尋常小学校校舎竣工

11年 常吉尋常小学校校舎竣工

12年 「常吉尋常高等小学校」に、三重尋常高等小学校校舎竣工

13年 高等科を併設し「倉垣尋常高等小学校」に

昭和2年 丹後大震災。倉垣校校舎傾斜、常吉校校舎損傷

5年 常吉校新築竣工

15年 倉垣校講堂本館の増改築竣工

16年 「国民学校」に

20年 学童集団疎開受け入れ、常吉校へ鳳徳校・倉垣校へ鳳徳校・三重校へ待賢校

22年 「常吉・倉垣・三重小学校」に

24年 常吉小体育館・職員室竣工

26年 町村合併により三校とも大宮町立となる

55年 学校統合により、「大宮第一小学校」開校、プール竣工、グラウンド夜間照明設備完成

平成5年 スキー場完成

16年 合併に伴い、「京丹後市立大宮第一小学校」に

24年 京丹後市立大宮第一小学校「閉校」

大宮第三小学校の歩み(概要) ※年度

明治6年 三重校創立(萬歳寺)、延利校創立(長福寺)

7年 三重校校舎、延利校校舎移転

9年 三重校校舎を三重村舞台へ移転

11年 三重校校舎新築

16年 延利校新校舎竣工、久住分教場を設置

20年 「三重尋常小学校」に

21年 「延利尋常小学校」に

34年 「五十河村立延利尋常高等小学校」に、高等科を併設

43年 「三重尋常高等小学校」に、高等科を併設

大正12年 三重尋常高等小学校新築、大賀旧校舎より移転

昭和2年 丹後大震災。被害軽微、延利尋常高等小学校新校舎竣工

4年 「五十河尋常高等小学校」に

16年 「国民学校」に

22年 「三重・五十河小学校」に

26年 「大宮町立三重小学校」に

31年 「大宮町立五十河小学校」に

55年 学校統合により、「大宮第三小学校」開校

新校舎、スキー場完成、プール竣工

平成16年 合併に伴い、「京丹後市立大宮第三小学校」に

18年 複式学級、障害児学級閉級

19年 複式学級閉級

24年 京丹後市立大宮第三小学校「閉校」

湊小学校の歩み(概要) ※年度

明治8年 湊小学校 宝泉寺を仮校舎として開校

22年 「湊尋常小学校」に

26年 浦井分教室開設。福正庵大日寺に1・2年児童通学

30年 湊宮小字下ノ町に校舎新築

34年 浦井分教室新築

42年 義務教育年限2年延長尋常科6年制となり校舎増築

大正8年 教室増築

10年 湊宮実業補習学校併設、開校

11年 新校舎竣工

昭和2年 丹後大震災10日間臨時休業

16年 「国民学校」に

22年 「湊小学校」に

39年 鉄筋2階建校舎新築

50年 創立100周年記念式典挙行

100年史編集発行

52年 体育館新築

59年 新校舎(本館、給食棟)完成、浦井分校廃校

60年 南グラウンドフェンス設置、玄関前庭造成

61年 北グラウンド周囲防球ネット、渡り廊下防雪設備設置

平成6年 プール完成

16年 合併に伴い、「京丹後市立湊小学校」に

24年 京丹後市立湊小学校「閉校」

神野小学校の歩み(概要) ※年度

明治8年 神野校創立

12年 浦明村才オクジに校舎竣工

16年 甲山、鹿野、葛野の三力村に分教場設置

19年 学校令発令小学校を尋常・高等に区別

22年 「神野尋常小学校」に

43年 校地を小字カンドノに移転校舎竣工

大正15年 「神野尋常高等小学校」に

昭和7年 新校舎竣工(30625円)

16年 「国民学校」に

22年 「神野小学校」に

49年 神野小学校校歌発表

49~50年 校舎建築起工・新校舎竣工

59年 新校舎竣工10周年記念運動会開催(神野小学校百年のあゆみ)発行

平成2年 学校大改修(体育館・教室棟の屋根、壁面工事、児童便所水洗化、西階段補修)、ランチルーム竣工(全校児童、ランチルームによる給食開始)

5年 プール完成

16年 合併に伴い、「京丹後市立神野小学校」に

24年 京丹後市立神野小学校「閉校」

田村小学校の歩み(概要) ※年度

明治7年 「関学校」「三分学校」設立

9年 校舎移転

12年 校舎新築。三分分教場廃止

23年 「関尋常小学校」に

34年 「関尋常高等小学校」に

42年 校舎の増築、本館修理

大正15年 田村青年訓練所併設

昭和2年 丹後大震災。校舎が一部傾斜

3年 現在地に移転、校舎改築

16年 「国民学校」に

22年 「田村小学校」に

30年 「久美浜町立田村小学校」に

48年 創立100周年記念事業

55年 現校舎竣工(総工費3億6千万円)

平成16年 合併に伴い、「京丹後市立田村小学校」に

24年 京丹後市立田村小学校「閉校」



公共交通

水戸岡鋭治さん「地域再生の起爆剤に」

観光列車「あかまつ」「あおまつ」発進

観光の期待

木材を多く使い落ち着いた雰囲気の内装(あおまつ)



北近畿タンゴ鉄道(KTR)の観光型リニューアル車両「あかまつ」「あおまつ」を使用した観光型列車の運行が4月14日からスタートしました。

西舞鶴駅で14日に開かれた出発式には、前林副市長、山田府知事、沿線市町の首長、車両デザインを手掛けた世界的な工業デザイナーの水戸岡鋭治さんが出席。地元市民や利用客のほか鉄道ファンなど200人が会場に詰めかけました。

この後、大勢のカメラマンがシャッターを切る中、西舞鶴発豊岡行「丹後あかまつ1号」が西舞鶴駅を出発しました。車内では、丹後ちりめんの着物姿の一般女性たちが、着物の良さを他の乗客に

アピールしていました。この日、沿線や各駅では、住民が列車に向かって手を振ったり、よさこい踊りを披露したりしました。網野駅では、市のマスコットキャラクターの「コッペちゃん」や京丹後(旧)おかみさんの会のメンバーらが出迎えました。乗客は、「ホテルの中にいるみたい」「車窓からの眺めは最高」「観光気分になれる」などと感想を話していました。

両車両は、普通列車として約20年使われたものを改装したもので、赤色の「あかまつ」は、ソファやテーブル席を多く配置したゆとりのある空間が特徴で35人の定員制。普通運賃と乗車整理券(300円)が必要。青色の「あおまつ」は自由席で普通運賃だけで乗車で

車内では、乗務員による観光案内や写真撮影のサポート、駅弁や丹後の特産品、列車のオリジナルグッズなども販売されます。偶数日には「丹後あかまつ号」として、西舞鶴―豊岡を往復し、奇数日には「丹後あおまつ号」として、西舞鶴―福知山、福知山―天橋立を運行します。※運行ダイヤなどは、北近畿タンゴ鉄道のホームページをご覧ください。



(C)EJI MITOOKA + DON DESIGN ASSOCIATES

人事

京丹後副市長

前林保典氏を選任



前林 保典 副市長

京丹後副市長に、前府丹後広域振興局長の前林保典氏(60)を市議会の同意を得て選任しました。任期は4月1日から4年間です。

【主な略歴】昭和52年、京都府の職員に採用され、道路公社建設事務、建設交通部技監などを歴任。平成23年4月から丹後広域振興局長を務め、25年3月退職。

まちづくり

「幸福度を活かした地域創造」ワークショップに中山市長が出席

市民総幸福のまちづくりについて発表

市では、「市民総幸福」の最大化を目指したまちづくりに向け、研究会を設立し取り組みを進めています。そうした中、3月19日、「幸福度を活かした政策決定と地域創造」をテーマとした、日・ブータン共同研究・合同ワークショップに中山市長が招かれパネリストとして参加しました。

このワークショップは、国立ブータン研究所と内閣府経済社会総合研究所との間で、幸福度に関する国際共同研究の開始に当たり開催されました。「幸福度を活かした地域創造」をテーマとしたパネルディスカッションでは、中山市長がパネリストとして招待を受け、西川荒川区長(東京都)、笠松上勝町長(徳島県)、豊重申良まち柳谷公民館長(鹿児島県鹿屋市)とともに、



市民総幸福のまちづくりについて発表を行う中山市長

プレゼンテーションや意見交換などを行いました。「市民総幸福」の最大化を目指したまちづくりの取り組みについて「挑戦」を前提に留意点を含め考え方を説明し、誰も置き去りにしない「程度の差こそあれ皆が幸福になっていくようなあり方、誰も置き去りにされないあり方」を目指す。行政の軸がぶれないために、幸福の軸を置く。利他の幸福―関係性から幸福が生まれる。相手に喜んでいただき、自らの喜びとして幸福となるような取り組みをまちづくりに位置付ける。主観的幸福感と同じ幸福の指標の物理量であっても見方が違うことに対し、環境整備など政策的アプローチを模索する。

まちづくり

地域にぎわい創り推進員が交代

新たに廣野勝義さん、上田哲志さんを選任

市は、地域の特性や特徴を生かしながら市民と行政が協働して地域自治活動などを活性化し、地域ににぎわいを創

出するため、「地域にぎわい創り推進員」を6市民局に配置しています。今年4月1日から、大宮町



廣野 勝義さん (大宮市民局配置)



上田 哲志さん (弥栄市民局配置)

および弥栄町の推進員が交代し、新たに廣野勝義さん(大宮町下常吉)と上田哲志さん(弥栄町和田野)を配置しました。それぞれ配置先の市民局が管轄する区域において、市民局と一緒に、市民目線で地域のにぎわい創りの事務に当たります。



【新任】
長田 信子 さん

任期満了に伴い、行政相談委員の山崎修さんが退任され、新たに長田信子さん（網野町網野）が総務大臣から委嘱されました。任期は、今年4月1日から2年間です。

【相談の範囲】
国の行政機関や独立行政法人、特殊法人などの仕事や市役所の仕事のうち法定受託事務に該当するものなど、国の行政全般

行政相談委員は、毎月1回「行政相談」を市民局などで行うほか、自宅など住民の身近なところで、気軽に相談に応じています。

人権

任期満了に伴う改選
行政相談委員に長田信子さん

総務大臣から委嘱



【再任】
廣野 勇夫 さん

任期満了に伴う市立病院経営改善専門委員に廣野勇

医療

廣野勇夫さんを再任

市立病院経営改善専門委員

夫さん（峰山町杉谷）を再任しました。任期は、今年4月1日から1年間（平成18年1月から継続）。市立病院の医薬材料の調達、経営状況などについて調査、分析を行い、アドバイスをしていただきます。

交通安全指導員を改選

交通安全

交通安全啓発・事故防止に12人が活躍

任期満了に伴い、市の交通安全指導員を改選し、12人を中山市長が委嘱しました。

委嘱を受けた指導員は、平成28年3月31日までの任期中、市内での交通事故の防止を図り、交通の安全を保持するための活動を行います。

会長には、戸出司朗さんが再任されました。また、通算9期27年10カ月の長きにわたり交通安全指導員として、交通安全・啓発に尽力いただきました、田中功孝さん（網野町島津）に感謝状が贈られました。

- 【新任】
小國 芳直さん（久美浜町女布）
- 【再任】
増田 明子さん（峰山町荒山）
田中 千壽子さん（峰山町赤坂）
河野 忠夫さん（大宮町周積）
糸井 照雄さん（大宮町三重）
安井 十一さん（網野町新庄）
- 【復職】
中村 米子さん（網野町島津）
- 引野 年雄さん（網野町郷）
古木 幸雄さん（丹後町中浜）
吉岡 正二さん（弥栄町木橋）
戸出 司朗さん（久美浜町新谷）
稲田 敦子さん（久美浜町三谷）



児童に安全な自転車の乗り方を指導する交通安全指導員（海部小で）

下水道事業普及推進員を再任

下水道

平田貫治さん、三浦信悟さんを任命

水洗化率の向上のため、市下水道事業普及推進員として、平田貫治さん（弥栄町船木）と三浦信悟さん（網野町網野）を任命し、4月1日に委嘱状を交付しました。

任期は、今年4月1日から1年間です。



【再任】
平田 貫治 さん



【再任】
三浦 信悟 さん



【新任】
坂本 とみ子 さん

人権

人権擁護委員に坂本とみ子さん

法務大臣から委嘱

任期満了に伴い、人権擁護委員の吉岡慶子さんが退任され、新たに坂本とみ子さん（網野町浜詰）が法務大臣から委嘱されました。委嘱状伝達式は、4月5日

に市役所峰山庁舎であり、法務大臣の委嘱状が京都地方法務局京丹後支局長の廣瀬久夫さんから手渡されました。任期は、今年4月1日から3年間です。

市職員が復幸応援センターの勤務終え帰丹

復興支援

「小さな縁のつながりが復興の近道」

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市にある「陸前高田市復幸応援センター」(*)に派遣されていた本市職員の井上浩一係長が3月13日、2カ月の任期を終えて帰丹しました。井上係長が現地でも活動してきた内容をお伝えします。(本人談)

※陸前高田市復幸応援センター:本市が加盟する『全国青年市長会』が、陸前高田市(同协会会员市)の復旧・復興(復幸)を中長期的に支援するため、平成23年8月に開設。



陸前高田市災害FMに出演し、パーソナリティに活動内容を話す井上係長(左)

陸前高田市では、津波により躯体だけが残った建物があちこちで見られ、震災から2年が経っているものの、復興は十分に進んでいないと感じました。現地で私は、ケーブルTVやラジオ局と連携して被災地の状況を放送するプロジェクトや、仮設住宅支援などに携わりました。

放送プロジェクトでは、陸前高田市の災害FMとFMたごの両パーソナリティによる会談を企画したり、陸前高田市の現状などを記録した動画を使ったケーブルTV番組を作成(同番組は、市ケーブルTVで5月に放送予定)。仮設住宅支援では、同住宅が冬期厳しい寒さに見舞われることから、入居者の寒さを緩和し、リラックスしてもらおうと、本市と北海道登別市から「入浴剤」を搬入し、市内全ての仮設住宅に配布しました。

また、中山京丹後市長が陸前高田市東日本大震災追悼式出席時に訪問した宮城県気仙沼市にも同行。本市峰山町出身の大江真弘気仙沼副市長と意見交換しました。大江副市長から「気仙沼市と京丹後市は、共に鳴き砂の浜や国立公園がある。こういった共通点を生かして縁を深

めることも、被災地が復興する道につながる」とうかがいました。これらの活動を通じて、私が今後やるべきことは、“被災地の復興の状況や被災者の声を、できるだけ多くの方に伝える”こと。なぜなら、被災していない自分では、被災者の悲しみや絶望感を十分にくみ取れない。だけど、この状況を多くの人に伝えることで、小さな“縁”を作ることにはできる。この小さな“縁”のつながりが、復興への近道だと確信したからです。

復幸応援センターでは、津波で壊滅的な打撃を受けた陸前高田市の図書館を再建させる“陸前高田市図書館ゆめプロジェクト”を応援しています。読まなくなった本をお持ちの方は、ぜひご協力をお願いします。

“陸前高田市図書館ゆめプロジェクト”の詳細は、ホームページをご覧ください < <http://books-rikuzen.jp/> >



中山京丹後市長に同行し、大江気仙沼副市長(左)を訪問する井上係長

市内産業のさらなる振興を目指し

商工業

市企業立地推進専門委員を新設



【新任】
由良 貞和 さん

市では、市内企業の事業活動の活性化と企業誘致をさらに促進するため、市企業立地推進専門委員を新設。専門委員として、由良貞和さん（弥栄町堤）を委嘱しました。任期は今年4月1日から1年間。

京都舞鶴港の「日本海側拠点港」選定、京都縦貫自動車道や鳥取豊岡宮津自動車道の京丹後市内への延伸など、経済発展に必要な産業・社会インフラが飛躍的に向上することを見据え、市内企業のさらなる振興を図るために設置しました。

京丹後市職員人事異動

4月1日付けで職員の人事異動を行いました。本年度は、商工観光部の組織を見直し、「観光振興課」を分割して『スポーツ観光・交流課』を新設し、スポーツなどの観光イベントの実施や誘致、市民全体でイベントを支え又は参画する仕組みづくりを所管し地域の活性化を進めます。「観光振興課」は、観光振興策、観光振興計画の推進分野を所管します。同時に「商工振興課」と「産業雇用総合振興課」を統合強化し「商工振興課」として一本化しました。

(以下には、異動者、昇格・昇任者を掲載しています。氏名の前の○は昇格・昇任を表し、カッコ内は異動前の職名または所属等を掲載しています。全職員の配置については、市ホームページの「京丹後市職員名簿」に掲載しています)

消防本部		
総務課	課長補佐	中西 則昭 (網野分署長補佐)
	消防士	上中 宙士 (新規採用)
消防課		
	消防1係主任	岩瀬 章二 (消防課)
	消防1係主任	○ 山本 篤生 (久美浜分署)
	消防1係員	徳田新之介 (久美浜分署)
	消防2係長	増田 淳 (網野分署警備1係長)
	消防2係主任	木村 好宏 (網野分署)
	消防2係員	荻野 日翼 (竹野川分遣所)
	消防2係員	高野 喜仁 (網野分署)
	救急1係長	辻 正男 (消防課消防2係長)
	救急1係主任	安井 英人 (網野分署)
	救急1係主任	船越 昇 (網野分署)
	救急1係員	形山敬太郎 (消防課)
	救急1係員	安達 貴史 (消防本部・総務課)
	救急2係主任	大森 茂 (消防課)
	救急2係員	藤原 翔太 (消防本部・総務課)
	予防・調査2係主任	平井 信也 (網野分署)
	予防・調査2係主任	池口 直弘 (消防課)
	指令1係主任	辻村 昌宏 (消防課)
	指令2係主任	木村 雅弘 (消防課)
	指令3係主任	北垣 勝 (消防課)
	指令3係主任	山本 景一 (消防課)
網野分署		
	副分署長	○ 小森 英志 (消防課救急1係長)
	警備1係長	山下 良之 (竹野川分遣所警備2係長)
	警備1係主任	岩田 善雄 (久美浜分署)
	警備1係員	篠村 直樹 (消防課)
	警備1係員	吉岡 哲平 (久美浜分署)
	警備1係員	中村 真也 (網野分署)
	警備2係主任	田宮 恭志 (網野分署)
	警備2係主任	堀江 正男 (消防課)
	警備2係主任	井上 忠司 (網野分署)
	警備2係主任	野村 和孝 (久美浜分署)
	警備2係員	小谷 将貴 (竹野川分遣所)
	警備2係員	山下 寿久 (消防本部・総務課)
久美浜分署		
	警備1係主任	吉岡 徹也 (竹野川分遣所)
	警備1係主任	○ 平井 孝直 (網野分署)
	警備1係員	原 光海 (網野分署)
	警備1係員	瀬戸 孟 (消防課)
	警備2係主任	松本 欣也 (消防課)
	警備2係主任	敷下 茂幸 (竹野川分遣所)
竹野川分遣所		
	警備1係長	○ 木下 哲也 (消防課)
	警備1係員	坂本 竜児 (消防課)
	警備2係長	小西 圭介 (竹野川分遣所警備1係長)
	警備2係主任	中西 孝文 (久美浜分署)
	警備2係主任	今井 大祐 (消防課)
	警備2係員	秋原 辰典 (消防課)



「スポーツ観光・交流課」では、丹後100キロウルトラマラソンなどのスポーツイベントを通じて交流人口の増加や観光振興に取り組みます

農林水産環境部		
環境バイオマス推進課	課長	○ 谷口 敏典 (財政課長補佐兼財政係長)
	環境総合係長	○ 中村 孝幸 (環境バイオマス推進課)
	バイオマス政策係長	○ 松本 優 (環境バイオマス推進課)
	主任	宇野 浩嗣 (産業雇用総合振興課兼環境バイオマス推進課)

商工観光部		
商工振興課		
	課長	高橋 尚義 (産業雇用総合振興課長)
	課長補佐兼企業・雇用対策係長	増田 知裕 (産業雇用総合振興課長補佐兼企業・雇用対策係長)
	主任	増田 裕貴 (産業雇用総合振興課)
	主任 <公益財団法人京都産業21派遣>	蒲田 真穂 (産業雇用総合振興課)
	主任	蛭子ひとみ (下水道整備課)
	主事 <公益財団法人京都産業21派遣>	小西 宏和 (産業雇用総合振興課)
	主事	清水 聡子 (産業雇用総合振興課)
	主事	吉村 祐輝 (新規採用)
観光振興課		
	課長	柳内 研一 (商工振興課長)
	課長補佐兼観光振興係長	上羽 正行 (観光振興課長補佐兼観光企画係長)
	主事	堀江 亮平 (農政課)
	主事 <兵庫県但馬県民局県民室派遣>	橋本 一希 (観光振興課)
スポーツ観光・交流課		
	課長	荻野 正樹 (農政課主幹兼農業振興係長)
	課長補佐兼スポーツ観光推進係長	中島 茂樹 (観光振興課長補佐兼観光企画係長)
	交流・施設係長	木本 貴文 (秘書広報広聴課広報広聴係長)
	主任	鶴原 義和 (観光振興課)
	主任	平林 洋二 (観光振興課)
	主事	本城 康旭 (観光振興課)

建設部		
土木課		
	課長	○ 堀江 利彦 (土木課長補佐兼土木係長)
	土木係長	○ 橋本 直樹 (下水道整備課)
	主任技師	○ 久代賢一郎 (土木課)
都市計画・建築住宅課		
	技師	永砂 幸作 (農林整備課)

上下水道部		
普及推進・料金課		
	普及推進・料金課長兼普及推進・料金係長	平井 幸夫 (普及推進・料金課長兼普及推進係長兼料金係長)
	主任	野村 弘 (総務課)
水道整備課		
	課長補佐兼庶務係長	河嶋 英一 (農林整備課長補佐兼鳥獣対策係長)
	課長補佐兼管理係長	池部 繁明 (水道整備課長補佐兼整備係長)
	課長補佐兼整備係長	吉岡 浩司 (水道整備課長補佐)
下水道整備課		
	課長	○ 藤原 裕行 (下水道整備課長補佐兼計画係長)
	主幹兼整備係長	○ 下田 浩二 (下水道整備課長補佐兼整備係長)
	課長補佐兼管理係長兼庶務係長	岸本 忍 (下水道整備課長補佐兼管理係長)
	主任	鍛冶 宏美 (普及推進・料金課)
	主任技師	溝尻 尚敏 (海業水産課)
	主事	森 友宏 (網野市民局)

会計管理者		
会計課		
	課長	○ 瀬戸千賀子 (税務課長補佐兼庶務収納係長)
	会計係長兼審査係長	小西智恵子 (会計課会計係長)

市民部		
丹後市民局		
	市民局長	下岡啓二郎 (企画政策課長)
	総合窓口係長	○ 下戸 裕子 (農政課)
	主任	溝尻 美穂 (社会教育課)
弥栄市民局		
	市民局長	森戸 毅 (土木課長)
	総合窓口係長	○ 小谷 和広 (弥栄市民局)
	主任	安積智代美 (市民課)
	主事	小田垣広輝 (新規採用)
久美浜市民局		
	地域協働係長	○ 長砂 浩基 (久美浜市民局)
	主事	和田 洋司 (新規採用)

医療部		
医療政策課		
	主任	小石原弘通 (子ども未来課)

健康長寿福祉部		
生活福祉課		
	課長	岸本 繁之 (久美浜病院管理課)
	生活支援係長	○ 田宮 均 (生活福祉課)
	主任	砂井 一弘 (教育総務課)
	主任	○ 藤村 貴俊 (生活福祉課)
	主任	片西 優 (税務課)
障害者福祉課		
	主任	安達 純 (生活福祉課)
長寿福祉課		
	課長補佐	小山 登 (企画政策課長補佐兼総合政策企画係長兼公共交通係長)
	主任	平林 智子 (農林整備課)
	主任保健師	安田 啓子 (健康推進課)
健康推進課		
	保健係長	○ 田茂井和子 (健康推進課)
	主任保健師	吉野 智子 (長寿福祉課)
	主任栄養士	石河智恵子 (学校教育課)
	保健師	安積 真里 (新規採用)
保険事業課		
	課長	○ 木村 裕一 (保険事業課長補佐兼国保年金係長)
	国保年金係長	○ 小坂 貴寛 (保険事業課)
	主任	織戸 正美 (長寿福祉課)
	主任	岡崎 尚子 (学校教育課)
	主任	奥田 彩子 (税務課)

農林水産環境部		
	次長	後藤 正明 (環境バイオマス推進課長兼環境総合係長兼バイオマス政策係長)
農政課		
	課長補佐兼企画調整係長	岡野 勲 (海業水産課長補佐兼海業水産振興係長兼漁港整備係長)
	農業振興係長	○ 岩崎 浩一 (農政課)
	都市農村交流係長	○ 松下 幸弘 (農政課)
	主任 <京都府農林水産技術センター農林センター派遣>	大久保貴教 (農政課)
	主任	高田 亮平 (商工振興課)
	主任	水口 規宏 (社会教育課)
	主任 <商工振興課兼務>	安井 克弘 (農政課)
	主事	上田 雅也 (新規採用)
農林整備課		
	主幹兼森林保全係長	○ 松本 哲朗 (久美浜市民局長補佐兼地域協働係長)
	鳥獣対策係長	○ 松崎 良幸 (保険事業課)
	技師	中江 隆夫 (新規採用)
海業水産課		
	海業水産振興係長兼漁港整備係長	○ 蒲田 真好 (農政課)
	主任技師	宇野 直樹 (水道整備課)

市長直轄組織		
秘書広報広聴課	広報広聴係長	○ 小林 英樹 (秘書広報広聴課)
	主任	○ 高倉 遼 (秘書広報広聴課)
	主事	北尻 光 (商工振興課)
	主事	行待 香織 (管財・収納課)

企画総務部		
企画政策課		
	課長	川口 誠彦 (観光振興課長)
	総合政策企画係長	磯田 新也 (管財・収納課料金収納係長)
	計画推進係長兼公共交通係長	○ 井上 浩一 (都市計画・建築住宅課)
総務課		
	主任	橋本 将彦 (峰山市民局)
	主事	櫻井 有希 (新規採用)
人事課		
	人事給与係長	西村 智里 (財政課地方債係長)
	主任	今西 靖佳 (観光振興課)
	主事	井上 尚美 (保険事業課)

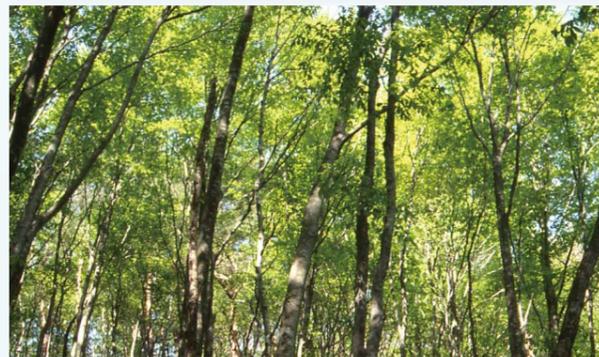
財務部		
財政課		
	課長補佐兼京都府税務機構丹後地方事務所派遣	○ 河田 英雄 (税務課長補佐)
	課長補佐兼財政係長兼地方債係長	○ 志水 丈浩 (企画政策課計画推進係長)
	主事	山添 力也 (税務課)
管財・収納課		
	課長	谷口 栄司 (網野市民局長)
	課長補佐兼管財係長兼料金収納係長	岩城 宏之 (管財・収納課長補佐兼管財係長)
	主任	川口 悟史 (入札契約課)
	主事	堀江 歳保 (新規採用)
入札契約課		
	課長補佐兼入札審査係長	戸根 浩一 (人事課人事給与係長兼契約係長兼入札審査係長)
	契約係長	溝口 容子 (人事課人事給与係長)
税務課		
	主幹兼庶務収納係長	○ 森本 辰朗 (消防本部総務課長補佐)
	税務課付係長 <京都地方税務機構丹後地方事務所派遣>	○ 大同 敏剛 (税務課)
	主任	川村 義輝 (総務課)
	主事 <京都府税務機構事務局派遣>	下岡 正宗 (丹後市民局)

市民部		
理事兼網野市民局長		
	野村 正彦 (市民課長)	
参事		
	河島 守男 (生活福祉課主幹兼生活支援係長)	
市民課		
	課長	上田 雅彦 (市民課主幹兼人権・女性政策・相談係長)
	主幹兼生活衛生係長	○ 大江 裕 (市民課長補佐兼生活衛生係長)
	人権・女性政策・相談係長	山副ゆかり (丹後市民局総合窓口係長)
	主任	金子 知子 (峰山市民局)
	主任	村田 雅之 (市民協働課)
	主任	本田 仁美 (久美浜病院管理課)
竹野川衛生センター		
	管理運営係長 (網野衛生センター兼務)	○ 小山 孝 (竹野川衛生センター兼網野衛生センター)
市民協働課		
	課長補佐兼協働推進係長	岸本 裕子 (市民協働課長補佐兼協働推進係長兼防犯・交通安全係長)
	防犯・交通安全係長	○ 堀江 幹也 (市民課)
峰山市民局		
	市民局長	山崎 力 (市民課主幹)
	主事	嶋本 友美 (秘書広報広聴課)
大宮市民局		
	主事	矢野 真由 (新規採用)
網野市民局		
	主任	椋平 哲朗 (社会教育課)

退職者 (平成 25 年 3 月 31 日付け)

成田 涉	久美浜病院診療部整形外科医長
渡邊 信之	久美浜病院診療部外科医師
東 和彦	市民部理事兼丹後市民局長
安達 忠行	健康長寿福祉部理事兼生活福祉課長
石田 雄一	管財・収納課長
平林 順一	峰山市民局長
谷口 幸作	健康長寿福祉部参事兼「くらし」と「しごと」の寄り添い支援センター長
山形 健一	保険事業課長
小石原吉雄	下水道整備課長
近藤美保子	弥栄病院栄養部管理栄養士長
松井 邦行	監査委員事務局長
山副佳代子	弥栄市民局長補佐兼総合窓口係長
鬼束 良子	健康推進課長補佐兼保健係長
藤原 和子	農政課長補佐企画調整係長兼都市農村交流係長
山本 忍	農林整備課長補佐兼森林保全係長
大木 利男	網野学校給食センター長
梅田津也子	網野幼稚園長
山添由美子	吉原・長岡・新山・丹波保育所長
田中 時子	たちばな保育所長
入江美智子	丹後保育所長兼丹後幼稚園長
松井 千鶴	宇川保育所長
田中とも子	溝谷保育所長
小谷 伸子	久美浜保育所長
嶋崎さなえ	こうりゅう保育所長
榎並 恵子	弥栄病院看護部看護師長
田中 照代	久美浜病院看護部看護師長
和田 有香	市民課主任
浜田 朝美	久美浜病院栄養部主任栄養士
安岡 高子	久美浜病院看護部主任看護師
野田 郁絵	弥栄病院技術部言語聴覚士
岸田 優子	弥栄病院看護部看護師
寺内 由美	弥栄病院訪問看護ステーション看護師
沖 笑子	弥栄病院看護部准看護師
数下加代子	久美浜病院看護部准看護師

全職員の配置については、市ホームページ
(http://www.city.kyotango.lg.jp)
に「京丹後市職員名簿」を掲載しています。



京丹後市の木「プラナ」

弥栄病院

診療部	泌尿器科部長兼人工透析内科部長	田中 稔之 (新規採用)
	内科医師	土肥 萌由 (新規採用)
看護部	副看護部長	森岡 絹恵 (副看護部長兼訪問看護ステーション管理者)
	看護師長	○ 山本久美子 (訪問看護ステーション)
	主任看護師	○ 藤原 美香 (看護部)
	主任看護師	○ 藤原 純子 (看護部)
	助産師	安田 彩華 (新規採用)
	看護師	今下 和子 (新規採用)
	看護師	山崎 歩 (新規採用)
	看護師	松尾 知美 (新規採用)
	看護師	佐々木理土 (新規採用)
	看護師	島田 知佳 (新規採用)
	看護師	山田 貴子 (新規採用)
	准看護師	松本久美子 (新規採用)
技術部	リハビリテーション技士長	梅田 匡純 (機能訓練士長)
	主任診療放射線技師	○ 平林 良介 (技術部)
	主任作業療法士	○ 中山 信隆 (技術部)
	理学療法士	松尾 正寛 (新規採用)
	言語聴覚士	古川 奈美 (新規採用)
管理課	主事	松村 麻美 (大宮市民局)
訪問看護ステーション	訪問看護ステーション管理者	○ 吉田 弘美 (看護部)
	主任看護師	○ 寺田智栄子 (看護部)
	看護師	豊田 敦子 (看護部)
訪問リハビリテーション事業所	作業療法士	山中 純子 (技術部)

久美浜病院

診療部	小児科医長	○ 杉本 洋平 (小児科)
	麻酔科医長	○ 粟井 一博 (麻酔科)
	外科医師	工藤 道弘 (新規採用)
	歯科医師	丸尾 将太 (新規採用)
	歯科医師	山田元太郎 (新規採用)
看護部	副看護部長	木下 幸江 (副看護部長兼看護師長)
	看護師長	○ 志村美智子 (看護部)
	看護師長	○ 能勢 光子 (看護部)
	主任看護師	○ 野村 郁子 (看護部)
	主任看護師	○ 川戸美紀子 (看護部)
	主任看護師	○ 森本 広美 (看護部)
	主任看護師	○ 小幡 純子 (看護部)
	主任看護師	○ 西垣 佳代 (看護部)
	主任看護師	○ 片田由美子 (看護部)
	主任看護師	○ 吉岡 広美 (看護部)
	看護師	成尾真美子 (看護部)
	看護師	榎本 初美 (新規採用)
	看護師	荻野 祐希 (新規採用)
	看護師	山崎 藍未 (新規採用)
	准看護師	兵藤ひろみ (新規採用)
技術部	リハビリテーション技士長	○ 菅村 正吾 (技術部)
	理学療法士	谷口 友香 (新規採用)
栄養部	栄養士	吉田 結香 (新規採用)
管理課	課長	○ 葛原 睦民 (管理課長補佐兼医事係長兼庶務室係長)
	課長補佐兼医事係長兼庶務室係長	平林 克也 (長寿福祉課長補佐)
	主事	永井 千裕 (社会教育課)

監査委員事務局

監査委員事務局長	○ 高田義一郎 (会計課長補佐兼審査係長)
----------	-----------------------

保育所 (教育委員会事務局)

吉原・長岡・新山・丹波保育所 (峰山仮設保育所)	所長	多賀野博子 (峰山仮設保育所長補佐)
	所長補佐	○ 中島 康乃 (久美浜仮設保育所)
	主任保育士	橋本 真理 (網野幼稚園)
	保育士	梅本奈緒子 (大宮北保育所)
	調理師	市村偉公子 (大宮北保育所)
	調理師	堀 幸恵 (大宮南保育所)
	調理師	神木 早苗 (大宮北保育所)
五箇保育所	主任保育士	松本 徳子 (宇川保育所)
	調理師	古川 広美 (網野みなみ保育所)
大宮北保育所	主任保育士	段ノ上 香 (大宮南保育所)
	主任保育士	土居 紀子 (大宮南保育所)
	主任保育士	松田 直子 (峰山仮設保育所)
	保育士	田中 美佳 (新規採用)
大宮南保育所	所長補佐 (大宮幼稚園副園長兼務)	○ 松岡 尚美 (大宮北保育所)
	主任保育士	佐々木 真由美 (溝谷保育所)
	主任保育士	森本 晶子 (丹後保育所)
	調理師	小倉 典子 (網野みなみ保育所)
	調理師	畑中 ゆみ (大宮北保育所)
	保育士	野村 南 (新規採用)
網野みなみ保育所	所長補佐	○ 近藤美佐枝 (黒部保育所)
	主任保育士	○ 松本久美子 (網野みなみ保育所)
	保育士	池部 力 (新規採用)
浅茂川保育所	調理師	松本亜紀子 (こうりゅう保育所)
島津保育所	所長	石出 愛子 (鳥取保育所)
	保育士	梅田 英里 (たちばな保育所)
たちばな保育所	所長	○ 小国 千鶴 (久美浜保育所)
	主任保育士	澤 淳子 (鳥取保育所)
	保育士	川口 優美 (島津保育所)
丹後保育所	所長 (丹後幼稚園長兼務)	浜上 玉恵 (島津保育所)
	保育士	山副 絵美 (網野幼稚園)
	調理師	堀江 淳子 (網野みなみ保育所)
	調理師	吉岡 眞弓 (大宮北保育所)
	保育士	伊達真衣子 (新規採用)
宇川保育所	所長	蒲田 和子 (大宮南保育所長補佐)
	保育士	大江 陽子 (網野みなみ保育所)
	調理師	能勢さえ子 (大宮南保育所)
鳥取保育所	所長	柴田 淳子 (溝谷保育所長補佐兼鳥取保育所長補佐)
	主任保育士	大賀美伊子 (大宮南保育所)
	調理師	若野 浩子 (大宮北保育所)
黒部保育所	主任保育士	上田真規子 (大宮北保育所)
	調理師	田辺 久代 (丹後保育所)
溝谷保育所	所長	安達 京子 (大宮南保育所長兼大宮幼稚園長)
	所長補佐	○ 寺田 浩子 (五箇保育所)
	主任保育士	山下 愛 (大宮幼稚園)
久美浜保育所	所長	松本 順子 (こうりゅう保育所長補佐)
	主任保育士	本田 直美 (こうりゅう保育所)
	保育士	葉賀 美幸 (新規採用)
湊・神野・田村保育所 (久美浜仮設保育所)	所長補佐	○ 野村 圭乃 (丹後幼稚園)
	主任保育士	大道 恵美 (峰山仮設保育所)
	調理師	柴田真美子 (こうりゅう保育所)
	調理師	小井根直美 (こうりゅう保育所)
こうりゅう保育所	所長	藤野 雪子 (久美浜仮設保育所長補佐)
	所長補佐	○ 増馬 温子 (こうりゅう保育所)
	主任保育士	松本佳代子 (久美浜保育所)
	主任保育士	藤安久美子 (大宮北保育所)

京丹後市職員人事異動

4月1日付けで職員の人事異動を行いました。異動者、昇格・昇任者を掲載しています。氏名の前の○は昇格・昇任を表し、カッコ内は異動前の職名または所属などを掲載しています。

教育委員会事務局

教育総務課	課長補佐兼庶務係長	坪倉 武広 (教育総務課長補佐兼庶務係長兼施設係長)
	施設係長	○ 小牧 義直 (教育総務課)
	主事	上田 将志 (弥栄市民局)
学校教育課	課長補佐兼企画振興係長	横島 勝則 (学校教育課長補佐兼指導係長)
	課長補佐兼学務・指導係長	松本 晃治 (学校教育課長補佐兼学務係長)
	主任	近藤 咲美 (弥栄病院管理課)
	主任栄養士	岡田 昌子 (子ども未来課)
	主任	宇野 智洋 (新規採用)
子ども未来課	主任	川浪周一郎 (障害者福祉課)
	主任栄養士	小森 宏子 (健康推進課)
	主事	梅田あすか (情報政策課)
社会教育課	主任	松本 勝年 (網野市民局)
	主任	堀 敏郎 (子ども未来課)
	主事	平岡 隆大 (環境バイオマス推進課)
	主事	松本 賢史 (人事課)

学校・幼稚園 (教育委員会事務局)

峰山小学校	主任調理師	○ 川原 英子 (峰山小学校)
大宮第一小学校	主任調理師	○ 西田 範子 (大宮第一小学校)
	調理師	蒲田 早苗 (峰山中学校)
大宮南小学校	学校用務員	高尾 治良 (大宮第二小学校)
網野北小学校	学校用務員	土井 貞雅 (網野南小学校)
網野南小学校	学校用務員	澤 信子 (橋小学校)
島津小学校	学校用務員	中村 和人 (丹波小学校)
橋小学校	学校用務員	岩本登志子 (島津小学校)
鳥取小学校	学校用務員	東 孝 (網野北小学校)
峰山中学校	主任調理師	○ 木成八千代 (峰山中学校)
	調理師	稲本久美子 (弥栄中学校)
	調理師	今井 昭子 (大宮中学校)
大宮中学校	主任調理師	○ 田丸 良子 (大宮中学校)
	調理師	梅田美由紀 (弥栄中学校)
網野中学校	学校用務員	佐々木友彦 (鳥取小学校)
久美浜中学校	主任調理師	○ 中西 博美 (久美浜中学校)
	調理師	中川由美子 (峰山中学校)
網野学校給食センター	センター長	今田 昇一 (水道整備課長補佐兼庶務係長)
	主任調理師	○ 尾江 浩和 (網野学校給食センター)
	調理師	藤原 緑 (大宮第一小学校)
峰山幼稚園	主任教諭	小西美也子 (峰山仮設保育所)
大宮幼稚園	園長 (大宮南保育所長兼務)	渡利 秀子 (大宮幼稚園副園長兼学校教育課長補佐)
	主任教諭	西村久美子 (大宮南保育所)
	主任教諭	鳥垣 泰加 (大宮南保育所)
	教諭	田村 亜耶 (新規採用)
網野幼稚園	園長	高杉 弘子 (網野みなみ保育所長補佐)
	主任教諭	室野めぐみ (大宮幼稚園)
	教諭	野木真紀子 (大宮幼稚園)
丹後幼稚園	主任教諭	谷口 有香 (丹後保育所)



コンセプト「丹後は日本のふるさと」
西暦 2013 年は、丹後の国誕生から 1300 年という記念すべき年です。この百年に一度の機会を迎え、過去から学び、未来へ発信する「丹後建国 1300 年記念事業」で私たちは、歴史・文化の掘り起こしから始まる地域振興を広域で推進していきます。

丹後建国 1300 年を盛り上げていただける冠事業を募集しています。
○冠の名称:「丹後建国 1300 年記念」「丹後建国 1300 年記念事業」
○対象事業:丹後建国 1300 年記念事業に調和していると認められる事業
○特典:冠事業の承認を受けた事業は、丹後建国 1300 年記念事業ホームページや発行物への掲載などによる広報、実行委員会のロゴマーク、キャッチコピーを使用することができます。詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.tangokankou.jp/tango1300/



▲何度も整形し、茶碗を作った



▲浅田さん(左)の指導を受ける部員たち



▲浅田さんのアトリエで粘土作りを行った



▲切り出した状態の土は根や小石が付着している



▲カッターナイフの先で根や小石を取り除く作業は、約50時間を費やした



▲素焼きした茶碗(右)に塗る釉薬(左上)は、藤の木の灰(左下)などから作成した



◀◀釉薬を塗り、仕上げを行った



▲本焼きを終えて完成した茶碗の中には、曲がったり割れたりしたものもあった



▲本焼きは、1220～1300度で3日間焼き続けた

◀完成を祝い、浅田さんとともに記念撮影する部員たち
▼完成した茶碗で、心のこもった茶を点てた



3月12日、府立久美浜高校で同校茶道部員14人が作った茶碗が披露された。「一番大切な人にお茶を点てたい」と一心で作成したものだ。「全て手作業で行うこと」「久美浜産であること」にこだわり、7カ月間に及び創作活動の末に完成させた。

自然そのままを受け入れて

茶道の精神の一つに、「一いっぴく碗のお茶を通じてお互いの心を分かち合い、相手に対して最善を尽くすこと」があるという。部員たちは、自分たちが心を込めて作った茶碗で点てるお茶こそがこれに通じると考え、昨年9月、久美浜町に住む陶芸家、浅田尚道さんを訪ねた。「自然をそのまま受け入れて、それにどう向き合うか。一つ一つ考えながら創作してほしい」と浅田さん。14人の陶芸活動が始まった。

全てが手作業

茶碗作りは、全て手作業。木の根や小石が混じる久美浜の土から、茶碗作成に適した土を選別。一碗分の土2キを用意するために、約50時間を費やした。しかも、市販されていない

粘土とは違い、自然のままの粘土は粒子がいびつなため形づくりが難しく、火にも弱い。そのため、部員たちは何度も土を練り直して整形した。仕上げとなる釉薬も、校内にある葡萄や藤の木の灰から作って色づけた。

ものづくりで感謝の心学ぶ

本焼きを終えた今年3月、部員たちは自作の茶碗と対面した。曲がった器、割れた器もあった。しかし、部員たちにとっては、一つ一つが「言葉で言い表せないほど大切な一品」となった。部長の奥田亜希さんは、「ものづくりを通して感動や喜びを体験し、自然の恵みに感謝する心を改めて学んだ。この思いを大切に、茶を点てたい」と話した。部員たちは、それぞれの一番大切な人へ、思いの詰まった一碗で茶を点てた。

思いをひとつの形に

久美浜

久美浜高校茶道部
茶碗作り

自作の茶碗で茶を点てる茶道部員

エコエネルギーセンター発

循環型社会の実現へ向けて

京丹後市エコエネルギーセンターは、エコエネルギーに関する情報発信および資源の利活用等環境に関する学習の普及ならびに有機系未利用資源の再資源化を促進することにより、京丹後市における循環型社会の形成を図ることを目的に設置されています。

今回は「安全な再生可能エネルギー生産」と「環境保全型農業の推進」を柱に、本市における循環型社会の形成を推進するエコエネルギーセンターの取り組みと今後の展望についてお伝えします。

安全なエネルギー生産と環境にやさしい農業を目指して

柱その①…安全な再生可能エネルギー生産

東日本大震災による原発事故以降、持続可能で安全なエネルギーへの関心が高まっています。

平成24年7月から、電力の固定価格買取制度が始まり、バイオガス発電設備（400kW）を備えたエコエネルギーセンターも、バイオガス発電により安全なエネルギーを安定的に生産する施設として、その存在



400kwの出力があるガスエンジン

意義が高まっています。

また、発電機から発生する排熱利用、施設の空きスペースなどを活用した太陽光発電パネルの設置検討など、指定管理者のもとでさらなる施設活用が進められる予定です。

柱その②…環境保全型農業の推進

市内外の食品工場などから受け入れる食品系未利用資源のみを原料とするメタン発酵消化液（以下、液肥）は、安全な農業を実践する「エコファーマー」が使用できる資材（肥料）として京都府知事の認定を受けています。安全性の認識が広がりつつあるほか、液肥使用農産物「環のちから」のブランド化に向けた取り組みも浸透してきており、市内農地での活用が広がっています。

市では、環境への負荷をできる限り低減して、多様な生物を育み、

消費者の求める安全安心な農産物を生産する「生物多様性を育む農業」を推進しており、その一環として、液肥利用農家で組織する液肥利用者協議会（尾畑與市会長・会員農家数50人）とともに液肥を活用した環境保全・資源循環型農業の推進に努めています。

循環型社会の実現に向け、さまざまな取り組みを展開

積極的な情報発信を展開

センターでは、海外も含め、市内外から多くの視察を受け入れています。今後は、教育機関と連携のもと、環境教育を推進するとともに、エコエネルギーに関する情報が積極的に発信されます。

さらに、センターを中心として市内のクリーンエネルギーや自然環境を併せて学ぶエコツアーの開発なども検討される予定です。

液肥利用量が3500トンを超えました

市は、環境保全・資源循環型農業を推進するため、エコエネルギーセンターでバイオガス発電をする際に発生する



液肥を使って栽培していることを示す看板

メタン発酵消化液を液肥として農業に利用する取り組みを支援しています。平成24年度の利用実績は3516ト、利用面積は約94畝と年々拡大しています。今年の春の水稲基肥への液肥散布についても、昨年実績の1380ト、43畝から約2000ト、60畝に拡大する見込みです。

さらに、水稲以外にも液肥を利用した環境保全型農業の推進を図るため、国営開発農地を中心とした畑作でも積極的な利用拡大を進めていきます。

特別栽培米「環のちから」販売促進

液肥を利用して栽培された本市の状況に応じた収集運搬方法などを具体的に検討する予定です。

環境バイオマス推進課
(☎6910480)

たコシヒカりは、市液肥利用者協議会が中心となり、特別栽培米「環のちから」としてブランド化を目指す取り組みが行われています。

現在は、関東圏での農産物直売チェーン店や大阪府門真市のパナソニックグループの従業員向け購買店での販売が始まっています。



ブランド化を目指す都市部で販売が始まった「環のちから」

第9回エコプロダクツ大賞優秀賞を受賞

市は、パナソニック株式会社（大阪府門真市）、アマタ株式会社（東京都千代田区）と連携して「食の循環」の取り組みを行いました。パナソニック社の社員食堂から出る厨房残渣をエコエネルギーセンターで受け入れて液肥として再資源化、その液肥で栽培されたお米「環のちから」を再びパナソニックの社員食堂で利用するという仕組みで、大きな食の循環を



実現しました。

資源循環の輪を描くこの取り組みが評価され、第9回エコプロダクツ大賞※優秀賞を受賞しました。

※環境負荷の低減に配慮した優れた製品・サービス（エコプロダクツ）を表彰することにより、需要者へ啓発し、エコプロダクツの供給者の取り組み支援により国内へのエコプロダクツ普及を図ることを目的に創設された賞です。

「環のちから」学校給食への導入の検討が始まる

市では、「環のちから」を市内小中学校の給食に提供する仕組みづくりの検討を始めた。資源循環型農業を通じて生産される環のちから米を給食で提供し、児童・生徒に資源の大切さや「食べること」の重要性に気付きを与えるような環境教育や食育につなげていきたいと考えています。

指定管理者のノウハウをフル活用

効率的な施設運営を

平成25年4月から3年間
指定管理者をアマタ株式会社に決定

市は、平成24年3月末に京丹後市エコエネルギーセンターの指定管理期間が満了となるため、所定の手続きに基づき指定管理者の候補者を選定した上で、平成24年12月議会定例会に上程しました。そして、産業建設常任委員会での付託審議を経て、平成25年1月臨時議会で、アマタ株式会社（東京都千代田区）を引き続き指定管理者とすることが賛成多数で採決されました。

排水処理工程を停止

これまでエコエネルギーセンターでは、メタン発酵消化液の一部を液肥として農業利用していました。使用しない消化液は、適正に排水処理して河川に放流してきましたが、この処理に多くの費用がかかっていました。

アマタ株式会社は、最も効率的に施設を管理するため、24年12月から排水処

理を行わない施設運営を行っています。

液肥散布の必要性

施設運営に係る主な指定管理者の収入としては、市が支払う指定管理料のほか、メタン発酵の原料となる食品残渣の受入収入とバイオガス発電による売電収入が挙げられます。

しかし、排水処理を行わないということは、発生するメタン発酵消化液全量を液肥として活用しなければならないことを意味します。

一方で、現状の液肥散布は田植え期に集中するなど年間を通じて一定ではないため、液肥の利用に合わせて原料受入量を増減調整しつつ、液肥の需要喚起と適時の散布作業を行い、全体として施設管理上の収支改善を進める必要があります。

この点では、指定管理者の創意工夫とともに市と連携して、さらに効率的かつ効果的な施設運営に努めることとしています。





▲トンネルの壁面をきれいに洗い流す間人小の教員たち

間人小(丹後町)の通学路となっている間人隧道(トンネル)で3月22日、同小学校区子どもを守る会(中江一彰会長)が主催するトンネル掃除が行われました。

同トンネルは、間人小、中の児童生徒60人以上が通学で利用。また、春休みは車の往来も増えるため、交通事故から子どもたちを守るとともに、ドライバーに安全運転を啓発することを目的に実施したものです。

この日は、間人小の教員ら15人がウォータージェットとブラシを使ってトンネル内壁の両面を丁寧に洗い流しました。

同小の田中校長は、「トンネルが短いので車のライトを付け忘れる人が多い。必ず付けてほしい」と呼びかけていました。

トンネル掃除で安全啓発

3月22日 丹後町

小西川堤防で30メートルのばら寿司

コッペちゃんが世界一のお墨付き 3月31日 峰山町



峰山町の小西川堤防で3月31日、世界一長い「丹後ばら寿司」づくりに挑戦するイベントが開催されました。

峰山町の中心を流れる小西川に愛着を持ってもらおうと、「みんなで小西川に人集う小径をつくろう協議会」(稲葉悦男会長)が企画したものです。

この日、周辺住民ら約300人が参加。「まつぶた」に見立てた、幅18センチ、長さ2メートルの木箱を15本つなぎ、干瓢入りの酢飯をベースに、そばろや錦糸卵、かまぼこを乗せて、長さ30メートルのばら寿司を作りました。

会場には、市のマスコットキャラクターコッペちゃんが審査員として登場し、ばら寿司の長さを測定。長さ「世界一」として認定していました。



▲パレードでアミティ丹後前を練り歩く一行。写真中

和装姿の来場者でちりめん祭にぎわう

丹後小町踊り子隊も華麗にデビュー 4月13日・14日 網野町

第63回京丹後ちりめん祭(同実行委員会主催)が4月13、14の両日、アミティ丹後周辺で開かれ、和装姿の来場者らでにぎわいました。

祭りのメインとなるパレードでは、丹後建国1300年を記念して、建国当時の貴族や役人などに扮した仮装行列を実施。総勢210人が会場周辺を練り歩き、祭りを華やかに飾りました。また、ステージでは、丹後ちりめんをPRするために9人の女性で結成された「丹後小町踊り子隊」がデビュー。丹後ちりめんの振り袖姿で華麗な舞を披露し、観客を魅了していました。

※「丹後小町踊り子隊」は、表紙および2ページで紹介しています

大宮町周枳の「なのはなめいろ」畑で4月14日、なのはなまつりが開催されました。

地元の児童らが種を蒔き、苗の植栽を手掛けた菜の花約3000本が満開を迎えました。会場には多くの家族連れらが訪れ、黄色に染まった花畑を歩いて鑑賞したり、記念撮影などをしたりしていました。

この催しは、子どもたちに自然と農業を楽しんでもらおうと区内の営農・農事組合のメンバーが企画したもので、保護者や区民らに披露するため開花時期に合わせて実施しています。今年で5回目。

会場では、宝探しゲームやもちつき大会のほか、おにぎりや豚汁も振る舞われ、子どもから大人まで自然の中で、楽しいひと時を過ごしました。

イベントの世話役を務める福井利道さんは、「農業の魅力は、成長と収穫の喜び。この取り組みを通じて、子どもたちにも農業の楽しさを味わってほしい」と話していました。



▲満開の花畑で鑑賞を楽しむ来場者たち

菜の花3000本が満開

4月14日 大宮町

まちのわだい

★ town topics ★



久美浜町の豪商稲葉本家で3月23日、丸子舟の完成記念式が行われました。

木製の丸子舟は、かつて久美浜湾での漁や対岸への移動手段として使われ、湾内に浮かぶ風景は、町のシンボルとして住民に親しまれてきました。

FRP(繊維強化プラスチック)製品の普及に伴い、約40年前に姿を消した丸子舟。かつての「ふるさとの記憶を呼び戻そう」と同町のNPO法人「わくわくする久美浜をつくる会」(友松祐也理事長)が企画し、元船大工の吉岡光義さんの指導を受け、約半年間かけて造りました。

この日披露された丸子舟は、湊宮地区の方から譲り受けた舟の寸法を基に新たに建造。全長5メートル、幅1.5メートルの小型船で、操作しやすく、波の衝撃を和らげるため、曲線の形状が特徴で、真っすぐな板を曲げたり、継ぎ合わせたりする伝統技術が使われています。

友松理事長は、「今後は、施設などでの展示や実際に乗船してもらい観光振興につなげたい」と話していました。

丸子舟は5月末まで、豪商稲葉本家で公開されています。(水曜休館)



▲丸子舟の建造に関わった中心メンバーへ花束を贈呈

久美浜のNPO丸子舟を復元

技術の伝承と観光振興に期待

3月23日 久美浜町

男たちがお菓子作りに挑戦

3月24日 弥栄町



▲講師の佐野さん(右)からアドバイスを受けながらコーヒーチーズケーキの生地を混ぜる参加者

「男のためのお菓子教室」が3月24日、弥栄地域公民館(弥栄町)で開かれ、町内の男性10人がコーヒー味のチーズケーキとカレーパン作りに挑戦しました。

参加者たちは、ホームベーキングスクール講師の佐野由紀子さん(大宮町)からアドバイスを受けながら、慣れない手つきで調理。ケーキの原料となる生クリームと小麦粉、卵、コーヒーなどを混ぜたり、カレーをパン生地に包み込んだりしながら、約2時間掛けて作り上げました。

参加した金保啓一さん(和田野)は、「お菓子を作るのは生まれて初めて。新たな趣味として、これからたくさん作ってみたい」と話していました。



▲焼きあがったコーヒーチーズケーキ(手前)とカレーパン



メタボ改善に、 ノルディックウォーキングを始めよう



市では、市民の皆さんの健康づくりを推進するために、ウォーキングを勧めています。中でも、ノルディックウォーキングは、通常の歩行に比べてカロリーの消費量が多い上に足や腰の負担が少ないため、メタボの改善にも効果があります。そこで、今回は、年齢、性別を問わずに気楽に楽しみ、エクササイズ効果が高いノルディックウォーキングをご紹介します。

消費カロリー20%増、足腰負担は40%減

ノルディックウォーキングは、ポールを使うことで下半身だけでなく上半身の筋肉も積極的に動かします。そのため、体全体の筋肉の約90%を使い、通常のウォーキングよりもエネルギー消費量が約20%増加します。しかも、通常のウォーキングに比べて腰、ひざ、足首などへの負担が約40%減るとの調査結果もあります。

つまり、多くの負担をかけずに効率よく体力づくりや減量をすることができます。

正しいフォームで効果アップ

ノルディックウォーキングは、ポールを使うという特徴がありますが、基本の姿勢は通常のウォーキングと同じです。不適切なフォームは、カロリーの消費量が減少するだけでなく、関節や筋肉を痛める原因となるので注意が必要です。



ウォーキングのポイント

- ★あごを引き、視線は遠くに向けます
- ★胸を張って、背筋は伸ばします
- ★かかとから着地し、歩幅は少し広めにとります
- ★ポールは軽く握り、リラックスします
- ★ポールを突く位置は、前後の足の中間です
- ★ポールは、斜め後方に押し出すように使います
- ★水分は十分に補給しましょう
- ★準備運動、整理体操は必ず行いましょう
- ★10分歩くと、約1000歩です。歩行時間で歩数を把握しましょう

＜用具と衣服＞

- ★ポールの長さは、身長×0.68が目安です
- ★靴は、靴底に適度な厚みがある運動靴を選びましょう
- ★動きやすい服装で歩きましょう
- ★靴下をはくと、疲労感が出にくくなります



桜を楽しみながら歩く京丹後市健康づくり推進員の皆さん
(峰山総合公園)

メタボ改善には週150分歩きましょう

運動の目的によって、歩行時間は異なります。健康維持を目的とする場合は、一週間に60分程度、メタボ改善を目的とする場合は、30分を週5回（一週間に150分程度）を目安に歩きましょう。

もっとも、一度に長時間歩くと、足腰に負担が掛かり、故障の原因となります。そこで、運動習慣のない方は、60分を週3回（各20分）に分けるなど、負担の少ない方法で始め、少しずつ距離や時間を増やしましょう。

「ややきつい」程度がベスト

安全で効果的に運動を行うには、「ややきつい」と感じる程度がベスト。「しんどい」「きつい」と感じるような強い運動の必要はありません。

最初は、「かなり楽だ」と感じる程度の運動から始め、少しずつ運動量を増やしましょう。



「ややきつい」の目安

- ・ちょっと息ははずむが、多少の会話ができて笑顔が保てる
- ・5分程度歩けば汗ばんでくる

お問い合わせ・ご相談は、健康推進課 ☎ 69-0350



▲茶摘み体験ツアーの様子

生産量、販売額とも過去最高
丹後国営開発農地で取り組んでいる茶の栽培は、平成25年度で10年目を迎え、茶園の木も大きく成長してきました。

24年度の生産は、荒茶生産量37ト、販売金額4400万円といずれも過去最高で、今後も増加することが見込まれています。
荒茶加工を担う京丹後製茶株式会社（久美浜町）では、茶市場への出荷に加え、加工、流通にも業務展開する6次産業化に力を入れています。主な内容は、丹後産100%の煎茶、番茶、焙じ茶などを商品化し、京丹後市内の直売所12店舗で販売しています。また、地元温泉旅館と提携して、京阪神の消費者を対象に「茶摘み体験ツアー」を開



▲乗用型摘採機を使って茶を収穫する様子

催。24年度は800人を越える来場者がありました。体験ツアーでは、製茶工場の見学、茶摘み、摘んだ生葉を家庭で簡易製造するホットプレート製茶法の実演などを実施。参加者に体験してもらうこと

で、茶への理解を深めてもらっています。
「うまいっちゃ〜」を試作開発
さらに24年度には、ペットボトル茶「うまいっちゃ〜」を試作開発しました。原料は一番茶（煎茶）で、爽やかな



▶丹後産の茶葉を直売所で販売
▼試作開発した「うまいっちゃ〜」

風味と口当たりの良いお茶に仕上がっています。商品名は丹後弁をもじり、パッケージデザインには茶園近くに営巣したコウノトリの図柄を用いています。府内のイベントなどで試飲調査を行い、25年度の商品化を目指しています。
抹茶は和菓子やアイスに丹後産抹茶の生産にも力を入れていきます。これらの抹茶は、丹後管内の菓子製造業社4社で、和菓子やシフォンケーキ、アイスクリームなどに利用されています。
京都府丹後広域振興局では、「丹後・食の王国」づくりに向けて、今後も茶が地域産業の一つとなるよう支援していきます。

丹後農業改良普及センター
☎ 662-4308



京都府で取り組んでいる市民生活にかかわる事業などについて紹介しています。

丹後の茶生産を支援しています。 加工・流通など6次産業化も進めています



京都府では、丹後あじわいの郷を核として、丹後の良質な「食」を広く発信しています

叙位叙勲
従六位瑞宝双光章（郵政事業功労）



故松本 定行 さん
（峰山町二箇）

【元特定郵便局長】

昭和32年9月から約38年間にわたり、峰山町五箇郵便局長として、職員教育や管理業務に尽力。局務成績の向上および郵政事業の発展に寄与し、その功績が評価されました。

危険業務従事者叙勲
瑞宝単光章（防衛功労）



黒田 正廣 さん
（峰山町丹波）

【元3等空尉】

昭和45年3月から約35年間にわたり航空自衛隊員として、日本領空内の警戒監視や隊員の服務指導など国の防衛に尽力。国家の平和、安全確保に寄与し、その功績が評価されました。

2012年度ワタミファーム&MD & WE
手づくり料理コンクール審査員特別賞

小西 恭子 さん（大宮町口大野）



笑顔で「冬野菜と豆乳のグラタン」を披露する小西さん

2012年度ワタミ手づくり料理コンクールで、丹後のかぼちゃやかかぶ、チンゲン菜などを素材としたメニュー「冬野菜と豆乳のグラタン」を提案した小西恭子さんが、全国200件の応募の中から、審査員特別賞を受賞されました。この結果を受け、小西さんのメニューが1年間、全国のワタミのメニューブックに掲載される予定です。小西さんは「丹後の雪の中で育った甘みのある野菜を全国にPRしたい」と話していました。



支援米の配給を受ける相馬市玉野地区の皆さん

福島県相馬市への救援物資受付終了について

市では、昨年4月から、東日本震災で被災した福島県相馬市へ支援米を送るため、市民の皆さんへ協力をお願いしていました。このほど、相馬市から支援へのお礼と併せて、住民に対する米の配給支援を終了とする

旨の報告を受けました。そのため、支援米の受け付けは、4月25日をもって終了させていただきます。この間、多くの皆さんに温かいご支援をいただき、ありがとうございました。皆さんからいただいた支援米合計218袋（1袋30キ）は全て相馬市へ届けました。

相馬市玉野地区では、福島第一原子力発電所の事故発生以来、米の作付けが制限されていましたが、市や農家の方などが一体となり、1年間、懸命な除染作業を行った結果、安全が確保される見通しとなったため、平成25年度産から米の作付けが再開されることとなりました。

東日本震災京丹後市災害支援対策本部
69・0140（総務課内）

京丹後に想う Vol.7



着物で「2012丹後きものまつり in 天橋立」に参加したデイヴィッドさん

私はカナダの首都であるオタワ市出身です。人口は約100万人。中心部にリドー運河が流れる自然にあふれた都市です。



デイヴィッド・グリーンウッドさん(25)
弥栄町溝谷在住

在住外国籍市民の皆さんから投稿いただいた京丹後市への想いをシリーズでお届けします。

れました。それ以来、毎週一緒に食事をするのが習慣になりました。

一番好きな日本の料理は「ばら寿司」です。カナダでも祝い事などでにぎり寿司を食べに行きますが、近所の方が振る舞ってくれたばら寿司のおいしさに驚きました。日本酒も大好きで、日本酒のイベントなどによく参加しています。晩酌に「京丹後の地酒」は欠かせません。

京丹後に来るまで、日本語が話せなければ田舎では生活できないと思っていました。正直、困ることもたくさんありましたが、親切な友達や近所の皆さんのおかげで、楽しく充実した毎日を送っています。

私のように、外国人が京丹後で生活する機会があれば、この地域の魅力はもっと伝わると思います。旅行よりも、地元の人たちと直接接することができ、人の魅力を感じられるホームステイがいいのでは。京丹後にホストファミリーがもっと増えればいいですね。

京丹後に住んで、たくさんの人と知り合うことができました。そして、皆さんのおかげで日本語の勉強が楽しくなりました。日本語能力検定2級合格を目指し、これからも勉強を続けていきます！

広報クイズの応募はがきから

▼袖志にある航空自衛隊経ヶ岬分屯基地をXバンドレーダーの追加配備の候補地にとの検討がされていることですが、沖繩の件でもいろいろ問題がありまして、住民の安全安心の確保が大前提であり、一市民としては慎重に考えてほしいと思います。

【峰山町・70代・女性】

▼Xバンドレーダー配備候補地に経ヶ岬分屯基地とありますが不安要素が大きいです。

【大宮町・60代・男性】

▼今月の表紙の新成人の方々、おめでとございます。二十歳の抱負を頼もしく拝見しました。山あり谷ありですが頑張ってくださいね！

【網野町・60代・男性】

▼着物がすたれたとはいっても成人式は着物ですね。私は40年も前の事ですが、大雪の日で大変でした。今は春になってからで良いですね。

【網野町・60代・女性】

みんなの声

ご意見箱から

▼峰山にも社会体育館が必要。もしくは大宮町の小学校の体育館をフットサルに利用できるように

▼峰山にも社会体育館が必要。もしくは大宮町の小学校の体育館をフットサルに利用できるように



小中学校体育館のフットサル利用は原則認められません。社会体育施設をご利用ください。

▼市内には、網野体育センター、三津体育館、大宮社会体育館、丹後社会体育館、竹野体育館、弥栄社会体育館の計6つの社会体育施設（体育館）があります。「峰山にも社会体育館が必要」とのことですが、今後新たに体育館を建設することは困難ですので、これらの施設のご利用をお願いします。

また、小中学校体育館などの学校体育施設については、社会体育活動など学校教育に支障のない範囲で開放していますが、フットサル利用については、体育館の構造上・設備上の理由により原則として認めていませんので、ご理解をお願いします。

【教育委員会事務局 社会教育課】

▼「まちのわだい」で今まで知らなかった各地のいろいろな事を知ることが出来るのがうれしい！

【久美浜町・70代・男性】

▼「まちのわだい」では、広い丹後の話題を細かに知らせていただき、いつも楽しみにしています。弥栄病院の森本先生の「口コモ予防」は身にしみて感じながら読みました。70歳となる私には要注意なことばかり。早速口コトレを試してみたいと思います。（1分間がこんなに長いとは思いませんでした）

【峰山町・60代・女性】

▼「地域医療の現場から」の「口コモを予防して健康的な生活を」のコーナーを読んでもとても関心を持ちました。口コトレでバランス力と筋力をつけるよう努力したいと思います。

【久美浜町・50代・女性】

▼丹後から山陰にかけて鉄道が走るの、地域の活性化に欠かせないと思いますのでぜひ実現してほしいです。

【天保町・70代・女性】

新山少年野球クラブ優勝

第9回マルハンカップ

4月6、13の両日、第9回マルハンカップ少年野球大会が峰山球場（峰山町）などで開かれ、市内の少年野球チームと宮津市、与謝野町の代表チーム計12チームが熱戦を繰り広げました。決勝戦では、予選を勝ち上がった新山少年野球クラブ（峰山町）と峰西少年野球クラブ（峰山町）が対戦。拮抗した試合展開が続きましたが、延長戦の末、4対



▲優勝した新山少年野球クラブのメンバー



▲全力でプレーする児童たち

2で新山少年野球クラブが優勝し、昨年（準優勝）の雪辱を果たしました。

同大会は、「児童たちに野球を通して心身の育成や友情・親睦を深めてもらおう」と峰山少年野球振興会が主催したものです。悪天候の中でも、全力で白球を追いかける球児のハツラツとしたプレーに、会場に訪れた多くの方から、温かい声援が送られていました。

大会結果

- 〔優勝〕新山少年野球クラブ
- 〔準優勝〕峰西少年野球クラブ
- 〔3位〕大宮ドリームス



▲熱戦を繰り広げる綾部高校（黄色ユニフォーム）と峰山高校（白ユニフォーム）

50チームが熱戦

丹後サッカーフェス

第24回サッカーフェスティバル（丹後サッカー協会主催）の小・中学の部が3月23、24の両日、高校の部が29、30の両日、途中ケ丘運動公園（峰山町）、網野高校などを会場に行われ、市内をはじめ、舞鶴市や兵庫県豊岡市など市外から小学の部に22チーム、中学の部に12チーム、高校の部に16チームが出場し熱戦を繰り広げました。

30日には、高校の部の親善試合が行われ、網野高校、峰山高校が滋賀学園高校、京都両洋高校などと対戦し、交流を深めました。

レスリング

由良琉二君 準優勝
細川あいさん 3位



細川あいさん 網野北小5年
由良琉二君 吉野小5年

全国少年少女選抜レスリング大会

第17回全国少年少女選抜レスリング選手権大会が3月9、10の両日、青少年総合センター（東京都）で開かれ、網野町少年レスリング教室に所属する由良琉二君（吉野小5年）と細川あいさん（網野北小5年）が輝かしい成績を収めました。

由良君は、小学生男子の部4年生33kg級に出場し、準優勝。細川さんは、小学生女子の部4年生26kg級に出場し、3位入賞を果たしました。

由良君は、「決勝で負けて悔しかったです。練習はつらいけど、頑張って次は優勝したいです」と話し、細川さんは、「友達と一緒に練習は楽しいので、もっと頑張りたいです。次の大会では優勝目指します」と話していました。

生命の絆

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜びご家族の姿を紹介いたします。ご応募いただいたすべてのかたを掲載しています。どしどしご応募ください。詳しくは秘書広報広聴課「生命の絆」係まで 069-0110



こんにちは。みんなでまっしたヨッ。きつたい助け合い。時にはケンカも。たくましく。心豊かに育てたい。生まれてきてくれてありがとう。

橋本直己ちゃん(男の子)
3月生まれ・3,884g
母: さおりさん 父: 安行さん
(峰山町荒山)



あなたの誕生で、家族の絆がもっと深まりました。菜以ちゃん ありがとう!!

米田菜以ちゃん(女の子)
2月生まれ・2,874g
母: 歩美さん 父: 卓也さん
(峰山町丹波)



お父さんもお母さんも、あなたの誕生を待ってたよ。これからよろしくね
高尾陽翔ちゃん(男の子)
2月生まれ・3,264g
母: 理恵さん 父: 嘉行さん
(大宮町善王寺)



会える日を楽しみにしていました。お父さん、お母さんのところに生まれてきてくれてありがとう。大好きです♡

清水葵ちゃん(男の子)
3月生まれ・2,730g
母: 美樹さん 父: 和則さん
(大宮町河辺)



元気に生まれてきてくれてありがとう。いっぱい思い出をつくらせていこうね
大同陽翔ちゃん(男の子)
3月生まれ・3,458g
母: 愛子さん 父: 英之さん
(大宮町奥大野)



京丹後(宿)おかみさんの会が企画

ジオの恵みが詰まった「ジオ御膳」

市内の旅館や民宿の女将さん26人でつくる「京丹後(宿)おかみさんの会」がこのほど、「おかみさんの会☆春のジオ御膳!桜プラン」を企画。4月1日から実施されています。

同企画は、世界ジオパークに認定されたこの地で育まれた食材を使った料理を提供することで、ジオパークの魅力をPRするものです。各宿が共通の食材を用いるというルールのもと、独自の調理法で料理を提供するのが特徴です。

御膳に使う共通の食材は「桜鯛」「鱧」「春わかめ」の3品。

桜鯛は、春、丹後半島沖に産卵のために群れをなしてやってきます。

産卵に備えて脂がのっているため、刺身や煮付け、しゃぶしゃぶなど、あらゆる料理に使われます。

鱧は、高級魚の一つとして知られる魚。魚肉は白身でやわらかく、味は淡白でくせがないのが特徴です。

春わかめは、生のままでと黒色のように見えますが、湯に通したとたんみるみる鮮やかな緑色に変化し、目でも春を感じさせてくれます。

「ジオパークの恵みが詰まった食材。どんな料理になるのかは私たちの工夫次第」と女将さんたち。



豊富な海の幸を使って料理を提供する京丹後(宿)おかみさんの会

豊富な海の幸も、山陰海岸ジオパークの大きな魅力のひとつとなっています。

(観光振興課)

(観光振興課)

(観光振興課)



▲赤坂今井墳墓で発掘された豪華な頭飾り

海外から取り寄せたガラスの塊を溶かして加工する職人、碧玉や水晶を削って

市内各地の墳墓では、当時の権力者が身につけていたネックレスやブレスレットが見つかっています。さらに、赤坂今井墳墓(峰山町)では、当時日本の中で、最も豪華といえるほどの頭飾りが出土しています(写真)。この飾りは、碧玉やガラスでできた200個以上のパーツを糸で繋ぎ合わせて作られたもので、精巧な技術が使われています。

豪華で細部にまでこだわった装飾品を身につける古代丹後のリーダーたちは、きっとオシャレだったんですね。そこで、今回のコラムでは、リーダーの身なりを支えた装飾品作りの「職人」にスポットを当ててみます。

繊細な装飾品を作るためには、当然、技術が必要で、当時、丹後には日本トップクラスの技術を持った職人が数多くいました。

丹後建国1300年

丹後人のオシャレを支えた職人たち

今回の舞台は弥生時代。「稲作の始まり」や「弥生土器」が有名です。でも、それだけではなく、丹後の弥生時代を特徴づけるものとして、ガラスや碧玉、水晶製の玉の装飾品が挙げられます。



「視界遠く」は、丹後建国1300年を記念して、古代丹後に暮らす人々の文化や生活にスポットを当てたコラム。この地に人が現れてから「丹後国」ができるまでをシリーズで紹介していきます。丹後の歴史勉強中の私と一緒に、はるか丹後をのぞいてみましょう。優れた技術や文化だけでなく、意外な生活も垣間見えるかもしれませんよ。

日本で「最も豪華」な頭飾りを作った!?

形を整える職人、鉄針を使って水晶玉に直径1ミリの穴をあける職人、その鉄針を作る職人など多くの専門職があり、協力し合って作品を作っていました。また、職人たちは、衣食住に必要なものを権力者から与えてもらい、創作活動に没頭していました。

それもそのはず。完成した装飾品は、権力者の身を飾るとともに朝鮮半島などの海外へ輸出。高価な品として、交易に利用されてきました。そのため丹後には、当時では珍しく貴重な鉄やガラス素材もたくさんあったといわれています。

現在でも丹後は、機、機械金属などさまざまな分野で世界屈指の技術を有する土地。この技術力は、2000年もの間脈々と受け継がれたものなのかもしれません。



日吉神社(木橋区)境内で出土した鰐口(わにぐち)。木橋区所蔵

鰐口とは、お堂の前に懸けられた仏具で、鰐口から垂れている太い緒を振ると音が鳴ります。小形で動かしやすいものであるため、最初に奉納された場所から何らかの理由で移動することもあります。

木橋区の鰐口は、鋳銅製で、径17・9センチ、厚さ5・4センチのもので、明治16年ころに木橋の日吉神社境内の土中より出土したと伝えられています。

表裏両面ともに、3組の圏線(円形にめぐった凸線)が表現されています。一番内側は音を鳴らす。

数少ない室町時代の仏具

以上のように木橋区の鰐口は、市内に残る数少ない室町時代の仏具の一つとして貴重なものである点が評価され、昭和49年7月4日付で弥栄町指定文化財(考古資料)に指定され、平成16年の京丹後市発足の伴い京丹後市指定文化財となっています。

現在、宮津市国分町の京都市立丹後郷土資料館に寄託・展示されています。

(文化財保護課)

表面の銘文は、鰐口が造られた宝徳2年(1450年)7月13日に藤原家次という人物が十王堂(所在地不明)というお堂へ奉納したと記されています。裏面の銘文には、永正5年(1508年)8月に河守郷(現在の福知山市大江町河守と思われる)の天神社へ奉納したことが記されています。その後、木橋の日吉神社へ至るまでの経過は不明です。

外側には銘文が刻まれている。す撞座となっており、一番

京丹後市の文化財 85

木橋区 鰐口

(弥栄町木橋)

Pick-up

30歳の成人式開催 200人が交流深める

満30歳の市内在住者らが集う「30歳の成人式 in 京丹後」(同実行委員会主催・櫛田啓実行委員長)が3月23日、セントラーレ・ホテル京丹後(大宮町)で開かれました。

「人口減少や不景気などの多くの課題がある中で、成長し自立した30歳が一堂に会し、地域の活性化に向けて京丹後市を核とした絆を再確認しよう」と、企画したものです。



記念写真を撮る30歳の成人式参加者たち

式典には、昭和57年4月2日から昭和58年4月1日生まれの京丹後市出身者、在住・在勤者など約200人が参加。出席者を代表して、中山良さん(峰山町)が「今日は丹後を意識する日。今日感じたことや思ったことを形にしてほしい」とあいさつ。中山泰京丹後市長からは「覚悟と責任を持って、若者の力で新たな時代を作り上げてほしい」とメッセージが送られました。

「行動すれば必ず丹後は変わる」

また、京丹後青年会議所前理事長の沖田真奈美さんと兵庫県丹波市議会議員で30歳の横田親さんを迎えてのパネルディスカッション「丹後の未来創造～今、出来る事・すべき事～」も実施。「少しでも行動すれば、

必ず丹後は変わる」「留まることなく動き続けることが大切」などと活発な意見交換が行われました。

農業法人勤務の坂根三太郎さん(大宮町)は、「今までは、丹後のことを深く考えたことはなかった。これを機に、“丹後＝農業”となるよう、また農業が就職の選択肢となるように頑張りたい」と話していました。

式典後に行われた懇親会では、市内の若手アーティストらがフラダンスやトーク、ブレイクダンスを披露し、会場を盛り上げていました。参加者たちは、旧友と互いの成長を喜んだり今後の課題や展望を話したりして、積極的に交流していました。

図書館だより

今月のおすすめ

■**みたいみたいみてみたい** **子ども向け**

いしばしひろやす/文・絵 扶桑社



こんなカバがいたら、こんな富士山があったら、こんなおふろがあったら、「みたいみたいみてみたい!!」想像力と好奇心いっぱい絵本です。

■**[あん]** **大人向け**

ドリアン助川/著 ポプラ社



生きる気力を失いかけていたどら焼き屋の千太郎の前に、突然「雇ってほしい」と現れた老女。彼女は病気への偏見から閉ざされた人生を送ってきました。千太郎は彼女からあんの炊き方とともに、生きる意味をも教えられるのです。

5月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	5/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	6/1

こんな本がよく読まれています!

ジャンル別貸出回数ベスト (平成24年度)

- ★ **小説部門** 貸出回数 140回
ナミヤ雑貨店の奇蹟/東野圭吾
- ★ **児童書部門** 貸出回数 144回
かいけつゾロリのだぞのだぞ大きくせん/原ゆたか
- ★ **小説以外** 貸出回数 63回
置かれた場所で咲きなさい/渡辺和子

★図書館協議会委員の紹介★

市立図書館では図書館の運営について意見をいただくため、「図書館協議会」を設置しています。図書館に関するご要望などは委員の方にお伝えください。

- ・浜岡 輝行 (網野町) ・深田 和幸 (弥栄町)
- ・増田 明子 (峰山町) ・味田 佳子 (弥栄町)
- ・森 茂夫 (網野町) ・畑中 敏子 (久美浜町)
- ・坂田かおり (大宮町) ・前田 史由 (鳥取小学校長)
- ・東 恵美子 (丹後町) ・和田 光 (間人中学校長)

(敬称略)

おわびと訂正

4月号10ページの「御旅市場フリーマーケット(第51回)」の記事で、中川芳郎会長となっていました。正しくは中川芳隆会長です。また、同号15ページの「119番受信件数」の記事で、受信件数が2,536件となっていました。訂正して訂正します。

宮川優のたんご優遊見聞録



学校に桜があるわけは?

4月も下旬、桜の季節も過ぎましたね。ちょうど満開の時期に襲った春の嵐にも負けず咲き続ける桜には、美しさと共にたくましさを感じました。桜を見ていると「キミの人生もたくましくいこうね」と、話しかけられている気がします。

そう、人生といえば人が生きていく上での基礎を学ぶ場、それは学校ではないでしょうか。

学校再配置により昨年度7つの学校が閉校し、今年度3つの学校が誕生しました!私は閉校する7つの学校のうち神野小・湊小・高龍中の閉校式に行ってきました。番組内で学校の取り組みなどを紹介していたこともあり、寂しい思いの中での取材でした。中でも学校を見守ってきた校旗が返納される時は目を潤ませる

ことも・・(泣)。明治8年に開校した神野・湊は138年の歴史。私たちが生まれるずっと前から続いていた歴史に今、幕を閉じなければならぬことの重みや無念さを感じつつ、その瞬間を見届けることができたことには感謝の思いでした。

でも閉校は、新たなスタートでもあります!開校した3校のうち大宮南小、新生久美浜中学校の開校式にもいってきました。児童・生徒代表のあいさつには「あいさつ・笑顔があふれる学校に!」という思いが、

宮川 優 (みやがわ ゆう)

京丹後コミュニティ放送・局長。FMたんごメインパーソナリティー。朝の情報番組「たんごモーニング・サンド!」(7:00~8:58)を担当。年間を通してイベントMCや各ナレーションにも多数出演



そして新しくなった校歌・校章には「それぞれの学校の伝統を引き継ぎ、地域の皆さんから愛される学校に・・」という思いが込められていました。

学校教育目標には、「子どもたちが根気強く・たくましい人間に成長すること」が掲げられています。今後、開校した3校をはじめ、市内の小中学校の児童生徒が、桜のようにたくましく成長してくれることを願っています。あっ、だから学校には桜の木が多いのかもしれない!

市政情報番組 FMたんご FM79.4MHz

●京丹後市からのお知らせ
月~金 7:53~7:58、13:00~13:05、16:54~16:59



広報クイズ



今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント!

- 問1 木村次郎右衛門さん「〇〇〇」歳に
- 問2 観光列車「あかまつ」[〇〇〇〇]発進
- 問3 「久美浜高〇〇部」が思いを形に茶碗作り

◆応募方法

はがきに ①クイズの答え(○の中に入る数字や文字) ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで(宛先は裏表紙を参照)。なお、お寄せいただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。※⑥の項目も忘れずにご記入ください。

◆応募締切

5月15日(水) 当日消印有効。当選者の発表は6月号のこのコーナーで。

◆4月号の答え

問1...676 問2...山陰 問3...さくら

◆4月号当選者

堀浪子さん(峰山町)、田中邦代さん(峰山町)、岡田のり子さん(久美浜町)、岡本行光(網野町)、堀和夫さん(峰山町)
応募総数15人、全員正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

Kia 京丹後市国際交流協会

自己紹介して交流を深める参加者



「共通語はにほんご」日本語教室参加者が交流

日本語教室に参加している市内在住の外国人と講師の交流会が3月23日、峰山総合福祉センターで開催され、約40人が参加しました。受講者の母国語は、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語とさまざまですが、会場では日本語が共通語。ゲームを交えて自己紹介などを行い、交流を深めました。また、アメリカ人の受講者が、担当講師と一緒に琴の演奏を披露。初めて琴の音色を聞いた受講者もいるなど、日本文化に親しみました。

navi navi navi navi navi navi navi

京都府丹後文化会館 インフォメーション

丹後建国1300年記念 第一回たんたん能の魅力発見公演

道成寺 6/15(土)

開演 13:30 (開場 13:00)
京都府丹後文化会館 (峰山町杉谷)
S席 10,000円 A席 9,000円
学生席 3,000円
京都府丹後文化会館 ☎62-5200

前売券 発売中

主催 / たんたんのうの会



若さあふれるひと・地域のよさを発見してくれろ人・
ひとつのことに夢中に打ち込むひと



kyotangojin

我流フラダンスチーム

アラサ
ARASA

京
丹
後
人

37

フラダンスを見て踊って みんなが笑顔に

子育て奮闘中のママさんたちによる、市内でも珍しいフラダンスチームがある。チーム名は「ARASA」。互いに子育て相談をしながらフラダンスに挑戦し、今年3月に開かれた「30歳の成人式」では、息の合ったダンスを披露して喝采を浴びた。「笑顔がモットー」という彼女たちに、活力の源を聞いてみた。

◆ ◆ ◆
メンバー6人の年齢は27歳〜30歳で、5人は市外出身。数年前に京阪神などから京丹後に嫁いできた。田舎暮らしに慣れず、知り合いも少ないため妊娠や出産、子育てなどの悩みを一人で抱え込むこともあった。

6人の出会いは、インターネットの子育て支援サイト。不安や悩みを相談する内に意気投合した。境遇や年齢が近いこともあって自然と仲良くなり、「出会うて話そう」と集まるようになった。

お互いの悩み相談だけでなく、子育て支援の教室などにも積極的に参加した。その際、フラダンスを体験。ハワイアンミュージックに合わせてゆったりと踊るダンスに心身とも癒され、惹き付けられた。「自分たちでフラダンスチームを作ろう」と昨年6月に結成。チーム名は、30歳前後を意味するアラウンドサーティーをもじって「ARASA」と名付けた。榎田彩子さんは「シェイプアップやス

トレス解消はもちろん、骨盤矯正にも通している。出産直前まで踊る人もいます。また、産後の体系維持にも役立っています」と話す。実際に、山下真実さんは、30歳の成人式で踊った5日後に、元気な女の子を出産した。

フラダンス歴は、最も長い杉本かおりさんでも1年半。杉本さんは「全員が駆け出しですが、振り付けや選曲は自分たちで決めます」。谷口めぐみさんは、「インターネットの動画や専門誌を見て、自分たちなりに研究しています」と話す。衣装も自分たちでコーディネートするなど、全て「我流」だ。練習は週2、3回、メンバーの家や公民館などで行う。2人の子どもを育てる中西博子さんは、「子どもがぐずると、抱っこしながら踊ったり、最悪の場合は全く練習できずに終わることもあります」と笑う。吉岡夏希さんも「練習時間が少ないけど、だからこそ、できるときには目いっぱい楽しめたい」と話すなど、みんなポジティブだ。

現在は、敬老会や飛天などのイベントのほか、福祉施設で公演。モットーの「笑顔」をいっばいに、ダンスを届けている。「自分が笑顔になると、メンバーも見てくれる人も笑顔になり、自然と元気が湧いてきます。これがフラダンスの最大の魅力です」とメンバーたちは口をそろえる。――よばよばのおばあちゃんになっても、笑顔で踊り続けたい。

「ARASA」は、5月12日に全性寺（峰山町）で開かれる天神祭、また5月26日に開かれる浜詰太鼓祭り（網野町）に出演予定

つぶやき

▼今月号から広報きょうたんとご作成を担当することになりました。初めての仕事に悪戦苦闘の毎日ですが、早く一人前の「広報マン」になれるよう頑張ります▼早速まことに飛び出すと多くの「感動の瞬間」に立ち会うことができました。表紙を飾った丹後小町踊り子隊の取材では、息の合った踊りに圧倒されっぱなし。ステーション終了後、踊りを教えていた先生が「あんなに下手だったのに……よく頑張ったね」と涙ぐんで声をかけていた様子やメンバーの達成感に満ちた笑顔から、厳しい練習を乗り越えて今の姿があることが伝わってきました▼また、世界最高齢の木村次郎右衛門さんに出会えたことは一生の自慢です▼広報では、このような「感動の瞬間」を皆さんと共有できる紙面づくりを心掛けたいです。6月号ではどんなことを皆さんにお届けできるのか。コウノトリの誕生?!など期待したいですね!光

人口・世帯数

男	28,735人(-121)
女	30,898人(-145)
計	59,633人(-266)
世帯数	22,510世帯(-6)
4月1日現在、カッコ内は前月比。	
住民基本台帳(外国人含む)による。	



振り込め詐欺にだまされないで!!

